

知ってほしい まちの予算

平成 23年度

『市川三郷レンジャー』



平成 23年度市川三郷町予算説明書

事業別予算一覧

● ● ● 目 次 ● ● ●

はじめに（町長あいさつ文）	1
平成23年度市川三郷町一般会計予算・特別会計予算の状況	4
事業別一覧	7

学ぶまち

1．郷土への誇りと生きる力を育むまちづくり

○学校教育の充実	15
----------	----

2．価値ある文化の共生と創造性あふれるまちづくり

○国際交流の推進	18
○地域間交流の推進	18
○文化・芸術の振興	18

3．心の豊かさと生きがいに満ちたまちづくり

○生涯学習の充実	20
○生涯スポーツの振興	22

暮らしやすいまち

1．健やかでやすらぎに満ちたまちづくり

○子育て環境の充実	27
○健康づくり	32
○医療・救急医療の充実	36
○介護サービス・予防の充実	36
○福祉対策の充実	40

2．誰もが住みたくなるまちづくり

○生活環境（生活道路・公園等）の整備	46
○上下水道の整備・充実	50
○防災体制の充実	52

○交通安全・防犯対策の推進	5 4
○定住化の推進	5 5
○情報化の推進	5 6
3 . 公平で効率の良いまちづくり	
○男女共同参画の推進	5 7
○行財政改革の推進	5 8
楽しむまち	
1 . 人々が行き交い賑わいを生むまちづくり	
○道路網の整備	6 3
○公共交通機関の整備	6 3
2 . 魅力と創造性発揮による活気あふれるまちづくり	
○農林業の振興	6 4
○商工業の振興	6 9
○観光の振興	7 0
3 . 町民と行政とによる心豊かなまちづくり	
○住民参画と協働の推進	7 3
4 . 恵まれた自然環境と共生するまちづくり	
○土地利用の推進	7 5
○景観の保全と活用	7 6
資料編	7 9

平成23年度 市川三郷町一般会計予算・特別会計予算の状況

会 計 名		平成23年度 当初予算額	平成22年度 当初予算額	前年度比較		
				差引	対前年度比	
1	一般会計	83億9,804万円	78億8,237万円	5億1,567万円	6.54	%
2	国民健康保険特別会計 事業勘定	20億1,765万円	18億5,436万円	1億6,329万円	8.81	%
	国民健康保険特別会計 直営診療施設勘定	8,951万円	8,953万円	2万円	0.02	%
3	介護保険特別会計	17億3,529万円	16億9,340万円	4,189万円	2.47	%
4	介護サービス事業特別会計	458万円	450万円	9万円	1.91	%
5	訪問看護ステーション西八代特別会計	2,616万円	2,367万円	249万円	10.52	%
6	簡易水道特別会計	2億8,038万円	1億8,994万円	9,044万円	47.61	%
7	公共下水道事業特別会計	9億7,117万円	8億9,759万円	7,358万円	8.20	%
8	農業集落排水事業特別会計	3,441万円	3,536万円	95万円	2.69	%
9	戸別浄化槽整備推進事業特別会計	606万円	633万円	27万円	4.24	%
10	温泉事業特別会計	5,953万円	3,907万円	2,046万円	52.35	%
11	恩賜県有財産保護管理事業特別会計	234万円	232万円	2万円	0.99	%
12	市川財産区特別会計	160万円	150万円	10万円	6.88	%
13	高田財産区特別会計	82万円	84万円	2万円	2.15	%
14	大同財産区特別会計	325万円	327万円	3万円	0.79	%
15	歌舞伎文化公園管理特別会計	3,515万円	3,459万円	57万円	1.64	%
16	後期高齢者医療特別会計	1億9,182万円	1億9,108万円	74万円	0.39	%
廃止	老人保健特別会計	—	62万円	62万円	皆減	%
合 計		138億5,777万円	129億5,034万円	9億743万円	7.01	%

一部項目内で端数調整をしています。

はじめに

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震におきまして、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、甚大な被害に遭われました皆さま方に深心よりお見舞いを申し上げます。

また町民の皆様には、日頃から市川三郷町のまちづくりに多大なるご支援ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

市川三郷町の平成23年度当初予算は、一般会計83億9,804万円、国民健康保険などの特別会計などを合わせた全会計で138億5,777万円という予算規模で編成を行い、厳しい財政状況ではありますが、町民皆様の暮らしやすさのため、昨年度比7.01%増という予算であります。

- 住宅リフォーム助成事業の創設
- 管内小中学校全校全教室にエアコン設置
- ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、及び子宮頸がん予防ワクチン接種費用の小学6年～高校3年まで全額公費負担
- 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の半額助成
- 中学3年生まで医療費窓口無料化の継続
- 不妊症で悩むご夫婦のために治療に要する費用の一部助成
- 住宅用太陽光発電システム設置への奨励金の継続

今年度は、以上のような主要事業に加え、町単講師の増加をはじめ、英語検定等補助、5名のALTによる小学校の外国語活動の実施、給食費の値上げ分の公費負担、外国籍児童・生徒・保護者のための通訳支援員、特別教育支援員の増員なども継続するなど、限り有る財源を活かし、教育、子育て支援や福祉、環境対策を政策の軸として掲げ、勇往堅実に行政に取り組んでおります。

このほか、矢作上野線新設改良工事、宮原一本松線新設改良工事、（仮称）平塩5号線新設事業、消防詰所建設事業、耐震性貯水槽整備事業なども行うなど、ポイントを絞った予算配分を心掛けました。

今年も、具体的な内容を町民の皆様によりわかりやすくお知らせするために、この「知ってほしい！まちの予算」を作成いたしました。今年度も経費削減を念頭に職員の手作りによる冊子として作成、町のHP上からいつでも閲覧や印刷ができますので、ぜひ皆様にこの「知ってほしい！まちの予算」をお読みいただき、どんな施策や事業が行われる予定なのかをお確かめいただきたいと思います。

最後になりますが、この予算の説明書をお読みいただくことで、町民の皆様から市川三郷町のまちづくりに対して、さらなるご理解とご協力を仰ぐことができない、「住民自治」への町政をさらに推進できるようお願いいたします。

平成23年5月
市川三郷町長 久保眞一



● ● ● 事業別予算一覧表 ● ● ●

学ぶまち

印は新規または一部新規事業です

1 郷土への誇りと生きる力を育むまちづくり

4億8,231.9 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
学校教育の充実 4億8,231.9 万円	小学校費	1億6,456.4 万円	学校教育	15 }
	中学校費	1億1,050.4 万円	学校教育	
	外国人通訳支援員配置事業	22.2 万円	学校教育	
	☆ 光をそそぐ交付金(基金)事業(教育環境充実事業)	397.4 万円	学校教育	17
	外国語(英語)指導者業務委託事業	2,231.3 万円	総務施設	
	各種検定料(英語)補助事業	41.4 万円	総務施設	
	☆ 六郷小学校ペランダ手摺改修工事	317.1 万円	総務施設	
	学校給食センター運営事業	1億7,715.7 万円	給食センター	

2 価値ある文化の共生と創造性あふれるまちづくり

2,102.7 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
国際交流の推進 255 万円	市川三郷町国際交流協会運営補助	255 万円	総務施設	18 }
地域間交流の推進 650 万円	ふるさと創生事業	650 万円	企画政策	
文化・芸術の振興 1,197.7 万円	文化財の調査と保護	684.8 万円	学術文化	19
	芸術文化団体・事業への支援	486.3 万円	学術文化	
	☆ 国民文化祭への取り組み	26.6 万円	生涯学習	

3 心の豊かさと生きがいに満ちたまちづくり

9,944.5 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
生涯学習の充実 6,611 万円	放課後子どもプラン推進事業	140.2 万円	生涯学習	20 }
	生涯学習講座	38 万円	生涯学習	
	公民館管理事業	4,262.9 万円	生涯学習	
	『ことばの森』教室	17.8 万円	生涯学習	21
	市川三郷町立図書館事業	2,152.1 万円	町立図書館	
生涯スポーツ の振興 3,333.5 万円	スポーツ教室などの開催	25.7 万円	生涯スポーツ	22 }
	スポーツ団体への支援	493 万円	生涯スポーツ	
	富士川駅伝競走大会	5 万円	生涯スポーツ	
	社会体育施設管理	2,752.2 万円	生涯スポーツ	23
	研修会、講習会の参加	33.6 万円	生涯スポーツ	
	県スポーツレクリエーション祭の参加	24 万円	生涯スポーツ	

● ● ● 事業別予算一覧表 ● ● ●

暮らしやすいまち

1 健やかでやすらぎに満ちたまちづくり

56億3,494.9 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
子育て環境の 充実 8億3,374.2 万円	子育て支援医療費助成金支給事業	5,259.1 万円	子育て支援	27 } 32
	ヒブワクチン接種事業	375.8 万円	子育て支援	
	小児肺炎球菌ワクチン接種事業	1,105.9 万円	子育て支援	
	子宮頸がん予防ワクチン接種事業	845.7 万円	子育て支援	
	ひとり親家庭医療費助成事業	913.5 万円	子育て支援	
	乳幼児健康診査事業	246.4 万円	子育て支援	
	母子健康手帳の交付と母親学級事業	27.9 万円	子育て支援	
	予防接種事業	2,282.2 万円	子育て支援	
	不妊治療費助成事業	140 万円	子育て支援	
	放課後児童健全育成事業	2,688.1 万円	子育て支援	
	地域子育て支援センター事業	488.4 万円	子育て支援	
	次世代育成支援地域対策事業	322.2 万円	子育て支援	
	子育て祝い金	270 万円	子育て支援	
	子ども手当支給事業	3億1,120.2 万円	子育て支援	
	妊婦一般健康診査費助成事業	864.1 万円	子育て支援	
	保育の実施及び保育所地域活動事業	3億6,424.7 万円	保 育	
健康づくり 23億6,395.9 万円	☆ DV対策及び自殺対策相談員配置事業	319.9 万円	健康増進	32 } 35
	女性特有のがん検診推進事業	369.6 万円	健康増進	
	肺炎球菌ワクチン接種事業	51.5 万円	健康増進	
	地域自殺対策緊急強化事業	50 万円	健康増進	
	各種がん検診事業	3,759.8 万円	健康増進	
	結核検診事業	218.6 万円	健康増進	
	人間ドック事業	742.2 万円	健康増進	
	各健康教室(いきいき・はつらつ貯筋教室、 メタボリック予防教室他)	112.3 万円	健康増進	
	ニードスポーツセンターの管理運営	3,242 万円	健康増進	
	六郷の里 (つむぎの湯・いきいきセンター) 管理事業	5,972.2 万円	健康増進	
	老人医療費助成金支給事業	610.5 万円	国保年金	
	国民健康保険事業	20億1,765 万円	国保年金	
	後期高齢者医療事業	1億9,182.3 万円	国保年金	
医療・救急医 療の充実 8,951.2 万円	国民健康保険直営診療所運営事業	8,951.2 万円	国保年金	36
介護サービス・ 予防の充実 18億1,432 万円	介護保険事業	17億3,529.1 万円	介 護	36 } 37
	社会福祉法人等による利用者負担軽減事業	212 万円	介 護	
	配食サービス事業	959.9 万円	介 護	
	外出支援サービス事業	262.4 万円	介 護	
	高齢者生きがい活動支援通所事業	1,005 万円	介 護	
	軽度生活援助事業	45.6 万円	介 護	

● ● ● 事業別予算一覧表 ● ● ●

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
介護サービス・ 予防の充実	訪問理容・美容サービス事業	4.5 万円	介 護	38 }
	家族介護用品の支給事業	97.5 万円	介 護	
	緊急通報体制等整備事業(ふれあいペンダント)	303.6 万円	介 護	
	☆ 徘徊SOSネットワーク事業	10.8 万円	包括支援	
	二次予防事業(運動機能向上教室)	800 万円	包括支援	
	二次予防事業(対象者把握事業)他	207.7 万円	包括支援	
	地域包括支援センター運営事業(地域支援事業分)	3,511.9 万円	包括支援	
	高齢者虐待防止ネットワーク事業	23.7 万円	包括支援	
	介護予防支援計画作成(予防ケアプラン)	458.3 万円	包括支援	
福祉対策の充実 5億3,341.6 万円	救急医療情報キット配布事業	3.6 万円	福 祉	40 }
	シルバー人材センターへの助成	462.2 万円	福 祉	
	重度心身障害者往診交通費助成事業	30 万円	福 祉	
	自立支援給付	2億7,021.1 万円	福 祉	
	地域生活支援事業	2,080 万円	福 祉	
	補装具費の給付	506 万円	福 祉	
	重度心身障害者医療費助成事業	1億1,277.7 万円	福 祉	
	自立支援医療(更生医療)の助成	2,970.4 万円	福 祉	
	重度心身障害者等福祉タクシー利用料金助成事業	687.9 万円	福 祉	
	心身障害者福祉手当給付事業	120 万円	福 祉	
	心身障害児者一時養護サービス事業	60 万円	福 祉	
	介助用自動車購入等助成事業	40 万円	福 祉	
	難病患者等短期入所事業	40.2 万円	福 祉	
	米寿の祝い事業	93.5 万円	福 祉	
	百歳の祝い事業	576 万円	福 祉	
	敬老祝い金支給事業	188.9 万円	福 祉	
	敬老会運営費の助成	532.8 万円	福 祉	
	寝たきり老人等介護慰労金支給事業	162 万円	福 祉	
	老人福祉施設措置事業(老人ホーム入所への助成)	5,777.4 万円	福 祉	
	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	138.9 万円	福 祉	
	老人クラブへの助成等	573 万円	福 祉	

2 誰もが住みたくなるまちづくり

23億1,593.3 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
生活環境(生 活道路・公園 等)の整備 4億9,578.7 万円	地球環境保全事業	279.5 万円	環 境 衛 生	46 }
	衛生(ごみ、し尿、火葬)事業	3億4,140 万円	環 境 衛 生	
	衛生巡視事業	295.8 万円	環 境 衛 生	
	公害対策事業	59.3 万円	環 境 衛 生	
	狂犬病予防及び犬猫保護対策事業	117.1 万円	環 境 衛 生	
	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	1,276 万円	公 共 土 木	
	生活関連道路の整備事業	1,800 万円	公 共 土 木	

● ● ● 事業別予算一覧表 ● ● ●

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
生活環境(生活道路・公園等)の整備	町道の維持・管理事業	700 万円	公共土木	48 }
	河川の整備事業	1,000 万円	公共土木	
	河川の維持・管理事業	250 万円	公共土木	
	市川地区中央部まちづくり事業	8,991 万円	都市計画	49
	狭あい道路拡幅整備事業	670 万円	都市計画	
上下水道の整備・充実 15億5,461.1 万円	上水道事業の運営及び施設整備	2億6,259.2 万円	上 水 道	50 }
	流域関連公共下水道事業	7億2,378.8 万円	下 水 道	
	特定環境保全公共下水道事業	2億4,738.5 万円	下 水 道	
	戸別浄化槽整備推進事業	605.9 万円	下 水 道	51
	農業集落排水事業	3,440.7 万円	下 水 道	
	簡易水道事業	2億8,038 万円	簡易水道	
防災体制の充実 1億7,175.8 万円	優良建築物整備事業	939 万円	都市計画	52 }
	消防団の維持強化	8,314.7 万円	防災防犯	
	☆ 女性消防隊設置	384.8 万円	防災防犯	
	☆ 地域防災計画の見直し	280.4 万円	防災防犯	
	消防防災施設の整備充実、自主防災組織資機材整備事業	6,496.1 万円	防災防犯	
	防災行政用無線システム維持運用	760.8 万円	防災防犯	53
交通安全・防犯対策の推進 1,637.5 万円	交通安全対策の推進	301 万円	防災防犯	54
	安全・安心対策の推進	1,336.5 万円	防災防犯	
定住化の推進 1,855 万円	空き家情報登録制度「空き家バンク」事業		企画政策	55
	☆ 呼ぼうプロジェクトPR事業	23.1 万円	企画政策	
	☆ 住宅リフォーム事業	300 万円	都市計画	
	町営・町有住宅維持管理事業	1,531.9 万円	町営住宅	
情報化の推進 5,885.2 万円	デジタル放送移行支援助成金	20 万円	情報化推進	56 }
	行政情報ネットワークシステムの運用	4,531.7 万円	情報化推進	
	ネットワークシステム更新	1,149.3 万円	情報化推進	
	総合行政ネットワーク	111.3 万円	情報化推進	57
	町HPサーバ及びCMS保守作業委託料	72.9 万円	広聴広報	

3 公平で効率の良いまちづくり

3億5,192.4 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
男女共同参画の推進 45.4 万円	男女共同参画推進事業	45.4 万円	企画政策	57
行財政改革の推進 3億5,147 万円	課税、納税の事務	3,668.5 万円	税 務 課	58 }
	☆ 法人町民税管理システム導入事業	450.3 万円	税 務 課	
	広域行政組合運営事業	3億925.3 万円	企画政策	
	指定統計調査事業	102.9 万円	企画政策	59

● ● ● 事業別予算一覧表 ● ● ●

楽しむまち

1 人々が行き交い賑わいを生むまちづくり

1億597.8 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
道路網の整備 8,694 万円	町道宮原一本松広場線整備事業	5,394 万円	公共土木	63
	町道の新設整備事業	3,300 万円	公共土木	
公共交通機関 の整備 1,903.8 万円	コミュニティバス運行事業	1,903.8 万円	防災防犯	63

2 魅力と創造性発揮による活気あふれるまちづくり

2億5,560.3 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
農林業の振興 1億1,538.9 万円	☆ 農地貸借意向情報調査事業	76.8 万円	農業委員会	64 }
	農地制度実施円滑化事業	105 万円	農業委員会	
	農業委員会交付金等事業	419 万円	農業委員会	
	農業者戸別所得補償制度推進事業	129.8 万円	農 林	
	中山間地域等直接支払制度推進事業	161.4 万円	農 林	
	農地・水・環境保全向上対策事業	112 万円	農 林	
	緊急農業施設災害復旧支援対策資金利子 補給事業	5 万円	農 林	
	鳥獣害防除事業	60 万円	農 林	
	有害鳥獣の捕獲	75 万円	農 林	
	森林整備地域活動支援推進事業	16.2 万円	農 林	
	松くい虫防除事業	11.8 万円	農 林	
	町有林分収造林事業	84 万円	農 林	
	特定鳥獣保護管理事業	117.5 万円	農 林	
	千本桜植栽下刈事業	11.8 万円	農 林	
	農業用施設等維持管理費	4,460.2 万円	農 林 整 備	
	中山間地域総合整備事業等負担金	5,589.7 万円	農 林 整 備	
	林業施設等維持管理費	103.7 万円	農 林 整 備	
商工業の振興 1,759 万円	地場産業会館管理	117.2 万円	商工観光	69
	市川三郷町商工会運営費等補助金	1,310.3 万円	商工観光	
	製紙試験場管理運営費	212 万円	商工観光	
	消費行政活性化基金事業	119.5 万円	商工観光	
観 光 の 振 興 1億2,262.4 万円	登山道等整備事業	795.9 万円	商工観光	70 }
	花火公園管理業務事業	518.6 万円	商工観光	
	「第23回神明の花火大会」町花火打上げ委託料	300 万円	商工観光	
	静岡県西伊豆町交流事業	27 万円	商工観光	
	歌舞伎鑑賞助成事業	38 万円	商工観光	
	大塚地区のっぴい地域活性化事業	228.9 万円	商工観光	
	大門碑林公園管理運営	476.1 万円	商工観光	
	文化と武道の館管理	409.7 万円	商工観光	

● ● ● 事業別予算一覧表 ● ● ●

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
観 光 の 振 興	温泉事業	5,952.8 万円	商 工 観 光	72
	歌舞伎文化公園ふるさと会館等公園管理	2,971.9 万円	商 工 観 光	
	歌舞伎文化公園文化活動費	79.4 万円	商 工 観 光	
	歌舞伎文化公園文化資料館・ぼたん園等管理	464.1 万円	商 工 観 光	

3 町民と行政とによる心豊かなまちづくり

2,387.8 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
住民参画と協働の推進 2,387.8 万円	「いちかわみさと 議会だより」の発行	126.5 万円	議会事務局	73 }
	☆ 山梨県議会議員一般選挙	873.8 万円	庶 務	
	広報「いちかわみさと」の発行	274.7 万円	広聴広報	
	平成23年度「知ってほしい、まちの予算」の発行	5 万円	広聴広報	
	町民と町長のふれあい室		広聴広報	75
	町PR事業	508.1 万円	広聴広報	
	各種要望事項受付・取りまとめ及び管理事業		政策推進室	
	戸籍・住民基本台帳登録などに関する事務	599.7 万円	町 民	

4 恵まれた自然環境と共生するまちづくり

1,509 万円

中 分 類	個 別 事 業 名 (小分類)	事業費	担当係	ページ
土地利用の推進 909 万円	地籍調査事業	909 万円	地籍調査	75
景観の保全と活用 600 万円	☆ 景観計画策定	600 万円	都市計画	76

本書は、平成23年度に実施される主要な事業のみ紹介しています。そのため合計額は、当初予算額と必ずしも一致するものではありません。

学ぶまち

1 郷土への誇りと生きる力を育むまちづくり

学校教育の充実

2 価値ある文化の共生と創造性あふれるまちづくり

国際交流の推進

地域間交流の推進

文化・芸術の振興

3 心の豊かさと生きがいに満ちたまちづくり

生涯学習の充実

生涯スポーツの振興

● ● ● 学校教育の充実 ● ● ●

○ 小学校費

1億6,456.4 万円

(担当: 教育総務 課 学校教育 係)

町内6小学校を運営するための経費です。主なものとして、町費負担による教員、司書、用務員の配置です。また、上野小、大塚小、市川小、六郷小に特別支援教育支援員の配置を行います。

● 財源内訳 ●

国	6.4 万円 (0.04 %)
町	1億6,423.3 万円 (99.8 %)
他	【 学校施設使用料 】
	26.7 万円 (0.16 %)

主な経費

学校医、各種講師への報酬	511.8 万円
町単教員、司書、用務員の配置	3,746.2 万円
特別支援教育支援員の配置	840 万円
教材用備品、図書購入費用など	680.6 万円
学校運営の負担金、学校行事等補助金	95.1 万円
就学援助費	1,048.4 万円
学校運営のための経費	9,534.3 万円



○ 中学校費

1億1,050.4 万円

(担当: 教育総務 課 学校教育 係)

町内4中学校を運営するための経費です。主なものとして、町費負担による教員、司書、用務員の配置などを行います。

● 財源内訳 ●

国	4.2 万円 (0.04 %)
町	1億1,002.7 万円 (99.56 %)
他	【 学校施設使用料 】
	43.5 万円 (0.4 %)

主な経費

学校医、各種講師への報酬	341.9 万円
町単教員、司書、用務員の配置	2,281 万円
教材用備品、図書購入費用など	731.4 万円
学校運営の負担金、学校行事等補助金	394 万円
就学援助費	767.6 万円
学校運営のための経費	6,534.5 万円



○ 外国人通訳支援員配置事業

22.2 万円

(担当: 教育総務 課 学校教育 係)

町内在学のブラジル国籍児童が増加しています。日本語を充分話せない児童や保護者との連携を十分にするため、三者懇談等にポルトガル語を話せる支援員の配置を行います。

● 財源内訳 ●

町	22.2 万円 (100 %)
---	-------------------

主な経費

外国人通訳支援員報酬	22.2 万円
------------	---------

● ● ● 学校教育の充実 ● ● ●

新	光をそそぐ交付金（基金）事業（教育環境充実事業）		397.4 万円
	（担当： 教育総務 課 学校教育 係）		

きめ細かな教育的な配慮をし、生徒の健全育成に寄与すべく、町費負担による教員の配置を行います。

● 財源内訳 ●			
町	7.4 万円 (	2 %)	
他	【 基金繰入金 】		
	390 万円 (	98 %)	

主な経費	
町単教員の配置	397.4 万円



○ 外国語（英語）指導者業務委託事業	2,231.3 万円
（担当： 教育総務 課 総務施設 係）	

管内小中学校に外国語（英語）指導者（ALT）を配置し、中学校での英語教育を推進します。また本年度より必修化される小学校5・6年生の外国語活動に対応するため、本町では5名のALTにより充実を図ります。

● 財源内訳 ●			
町	2,231.3 万円 (	100 %)	

主な経費	
ALT業務委託料等(5名)	2231.3 万円



○ 各種検定料（英語）補助事業	41.4 万円
（担当： 教育総務 課 総務施設 係）	

管内の中学校で実施する各種検定（英語）に対して検定料の1/2の補助を行うことで、積極的な学習意欲の向上を目指します。

● 財源内訳 ●			
町	41.4 万円 (	100 %)	

主な経費	
検定料補助金	41.4 万円



● ● ● 学校教育の充実 ● ● ●



六郷小学校ベランダ手摺改修工事

317.1 万円

(担当: 教育総務 課 総務施設 係)

六郷小学校の2・3階にあるベランダは手摺の間隔が広く児童が転落する危険があるため、今年度改修工事を行います。

● 財源内訳 ●

町 317.1 万円 (100 %)



六郷小学校

主な経費

六郷小学校ベランダ手摺改修工事 317.1 万円

○ 学校給食センター運営事業

1億7,715.7 万円

(担当: 教育総務 課 給食センター 係)

小中学校の児童・生徒などに毎日約1,600食を三珠、市川大門、六郷の3カ所の学校給食センターで調理して、10校に配送しています。

学校栄養士さんも各給食センターに配置されておりそれぞれの地域の食材を使った特色のあるおいしい給食を提供しています。

食材の購入費は給食費として保護者から口座振替で町に納めていただきます。

米飯給食は、週3回(月・水・金)で、パン給食は週2回(火・木)です。

● 財源内訳 ●

町 1億105.7 万円 (57 %)

他 【 学校給食費負担金 】
7,610 万円 (43 %)

主な経費

人件費(職員・臨時職員など)	6,463.8 万円
給食材料の購入費	7,974.7 万円
給食施設・設備の保守などの管理費	2,997.2 万円
調理場機器などの備品購入費	280 万円



● ● ● 国際交流の推進 ● ● ●

○ 市川三郷町国際交流協会運営補助

255 万円

(担当: 教育総務 課 総務施設 係)

本町と姉妹都市を締結しているアメリカ合衆国アイオワ州マスカティーン市とは、町国際交流協会が主となり、ホームステイなどを通じ交流をしています。

協会では、マスカティーン市との交流のほか、町内3カ所で、小学生以上を対象に実施している英会話教室、国際交流啓発活動としての基調講演会を行っています。

本年度は、町内の中学校から訪問団を派遣し、ホームステイを通じて異文化交流が行われます。これら協会の国際交流推進活動に対する運営の補助をいたします。

● 財源内訳 ●

町 255 万円 (100 %)

主な経費

協会運営補助金 35 万円

マ市使節団訪問時補助金 220 万円



マスカティーン市訪問団(市川中学校にて)

● ● ● 地域間交流の推進 ● ● ●

○ ふるさと創生事業

650 万円

(担当: 企画 課 企画政策 係)

豊かな資源に恵まれた郷土に多くの来訪者を招き、歴史や文化の伝統を伝え、豊かな自然の魅力を発信します。

四季をとおして町の賑わいを醸し出します。

主な経費

ふるさと春祭り実行委員会補助金 150 万円

ふるさと夏祭り実行委員会補助金 300 万円

ふるさと秋祭り実行委員会補助金 150 万円

ふるさと冬祭り実行委員会補助金 50 万円

● 財源内訳 ●

町 650 万円 (100 %)



● ● ● 文化・芸術の振興 ● ● ●

○ 文化財の調査と保護

684.8 万円

(担当: 生涯学習 課 学術文化 係)

町の貴重な財産である建造物、民俗資料、古文書、遺跡、伝統芸能、伝統技術、天然記念物などの文化財を調査し、保護を図ります。

● 財源内訳 ●

県 217.9 万円 (32 %)

町 466.9 万円 (68 %)

主な経費

文化財保守管理 557.2 万円

文化財調査 91.5 万円

文化財保護団体補助金 36.1 万円

● ● ● 文化・芸術の振興 ● ● ●

○ 芸術文化団体・事業への支援

486.3 万円

(担当: 生涯学習 課 学術文化 係)

地域文化の向上と、地域の活性化を目指す芸術文化活動を支援するために、各種団体に補助金を支出します。

● 財源内訳 ●

町 486.3 万円 (100 %)

主な経費

大門碑林書道展実行委員会補助金	230 万円
市川三郷町文化協会補助金	90 万円
その他補助金	166.3 万円



国民文化祭への取り組み

26.6 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯学習 係)

「第28回国民文化祭・やまなし2013」が平成25年に開催されます。本町でも大門碑林書道展や三珠文殊県下書道展をベースにした「書(美術展)」と神明の花火をメインとして、住民との一体感の中で町ぐるみで取り組み、後年に繋がる事業を展開します。今年度は実行委員会を設立します。

● 財源内訳 ●

県 6.6 万円 (25 %)
町 20 万円 (75 %)

主な経費

先催地(京都大会)視察経費	23.7 万円
会議費等	2.9 万円



国民文化祭やまなし大会のキャラクター「カルチャくん」

● ● ● 生涯学習の充実 ● ● ●

○ 放課後子どもプラン推進事業

140.2 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯学習 係)

『たのしい教室』の愛称で、管内小学校区ごとに実施しています。公民館を利用し、主事をはじめ地域の大人たちとの交流を図りながら、スポーツや文化活動を組み込んだメニューで開催しています。

● 財源内訳 ●

国	46.7 万円 (	33 %)
県	46.7 万円 (	33 %)
町	46.8 万円 (	34 %)



たのしい教室（書道）

主な経費

コーディネーター・講師謝金等	109.4 万円
その他経費	30.8 万円

○ 生涯学習講座

38 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯学習 係)

市川アカデミー気軽に行講座は、誰でも気軽に行ける講座として、様々な分野で専門の講師を招き開催します。

パソコン教室は、コース別に実施し、レディース講座は女性を対象に着付け教室などを開催します。

● 財源内訳 ●

町	38 万円 (	100 %)
---	---------	---------



レディース講座（フラワーアレンジメント）

主な経費

市川アカデミー気軽に行講座	13 万円
パソコン教室	15 万円
レディース講座	5 万円
その他講演会等	5 万円

○ 公民館管理事業

4,262.9 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯学習 係)

町民に学習の場を提供するために、町民会館や地区公民館の維持管理を行います。

● 財源内訳 ●

町	4,262.9 万円 (	100 %)
---	--------------	---------

主な経費

【公民館活動費】		【公民館管理費】	
公民館事業委託料	127 万円	光熱水費、修繕費	1,688.1 万円
人件費	1,404.9 万円	検査委託料等	310.5 万円
その他	449.5 万円	その他	282.9 万円

● ● ● 生涯学習の充実 ● ● ●

○ 『ことばの森』教室

17.8 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯学習 係)

管内小学校5、6年生及び中学生を対象に、地域の退職教員の先生方が作文の添削指導を行います。「文章を書く」ことを通して意思表示の訓練や、受験や学習に対するやる気を育みます。

● 財源内訳 ●

町 17.8 万円 (100 %)

主な経費

学習指導者等謝礼	15.8 万円
その他	2 万円



○ 市川三郷町立図書館事業

2,152.1 万円

(担当: 生涯学習 課 町立図書館 係)

図書館は読書推進の場、学習の場、情報提供の場として生活のあらゆる分野で活用されています。

町民の読書要求にこたえるために、本館・三珠分館・六郷分館の図書館ネットワークシステムを活用して相互の貸出・返却・予約がどの館でもできるようになっています。

昨年度から実施したブックスタート事業は、生まれたばかりの赤ちゃんが両親とはじめて絵本にふれる機会となる事業です。

● 財源内訳 ●

町 2,152.1 万円 (100 %)

主な経費

図書・視聴覚資料購入費	555 万円
人件費	942.6 万円
図書館システム保守管理	173.3 万円
消耗品費	133.6 万円
ブックスタート用絵本購入費	14 万円
光熱費	34.9 万円
各種イベント事業	13.3 万円
その他	285.4 万円



町立図書館本館

● ● ● 生涯スポーツの振興 ● ● ●

○ スポーツ教室などの開催

25.7 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯スポーツ 係)

軽スポーツなどを通して町民の相互交流を深めるとともに、年齢や性別を問わず誰でも気軽に楽しみながら健康なからだをつくるのが目的です。

○ ソフトバレーボール大会

少人数で気楽にできるスポーツとして、第6回大会を実施し生涯スポーツとしての定着に努めます。

○ 軽スポーツ教室

体育指導委員が軽スポーツ技術を取得し、町民に新しい種目を普及させます。

○ 体力測定

自己の体力を測定し、健康管理や体力の維持向上を学びます。

● 財源内訳 ●

町 25.7 万円 (100 %)

主な経費

スポーツ教室などの開催

25.7 万円

(ソフトバレーボール大会・軽スポーツ教室・体力測定等)



○ スポーツ団体への支援

493 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯スポーツ 係)

町のスポーツ活動をより一層活発にするため、体育協会を通じて運営費などの一部を助成します。

体育協会では、同協会に加盟する団体への支援、各種大会企画、運営や参加、選手や指導者の育成などの活動を行います。

● 財源内訳 ●

町 493 万円 (100 %)

主な経費

体育協会への補助金

493 万円

○ 富士川駅伝競走大会

5 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯スポーツ 係)

歴史と伝統に育まれた富士川駅伝競走大会は、地域の活性化を目的とし、スポーツの振興と文化の向上を目指し、県内各地から参加をいただき開催されます。

県内でも歴史と距離が長い大会で、関係各位の協力のもと、今年度は第62回大会を迎えます。

● 財源内訳 ●

町 5 万円 (100 %)

主な経費

第62回富士川駅伝競走大会開催の負担金

5 万円



第61回大会のスタート地点

● ● ● 生涯スポーツの振興 ● ● ●

○ 社会体育施設管理

2,752.2 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯スポーツ 係)

社会体育施設（グラウンド、体育館、武道館、プールなど）を利用する皆さんが気持ちよくスポーツを楽しむことができるように、修繕、除草、清掃など施設の維持・管理を行います。

社会体育施設は、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりのために利用されています。

● 財源内訳 ●

町 2,752.2 万円 (100 %)

主な経費

消耗品等	46.4 万円
光熱水費	1,212.6 万円
修繕費等	289.1 万円
施設保守管理委託料等	542.6 万円
清掃委託料等	434 万円
工事請負費	42 万円
その他	185.5 万円



市川大門総合グラウンドでグラウンドゴルフを楽しむ町民

○ 研修会、講習会の参加

33.6 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯スポーツ 係)

生涯スポーツの環境整備とスポーツ指導者の育成を図るため、会議や研修などに参加します。

また、体育指導委員を対象に研修スポーツ大会が開催されます。

● 財源内訳 ●

町 33.6 万円 (100 %)

主な経費

峡南体育指導委員研修会等参加	9.9 万円
県体育指導委員研修会等参加	16 万円
関東体育指導委員研究大会参加(茨城県)	7.7 万円



○ 県スポーツレクリエーション祭の参加

24 万円

(担当: 生涯学習 課 生涯スポーツ 係)

町民が気軽に参加し、スポーツレクリエーションを楽しみ交流を深め、生涯スポーツの振興を図ることを目的とした県スポーツレクリエーション祭に参加します。本年度は5月21日から開催されます。

● 財源内訳 ●

町 24 万円 (100 %)

主な経費

県スポーツレクリエーション祭参加旅費	20 万円
県スポーツレクリエーション祭参加負担金	4 万円



暮らしやすいまち

1 健やかでやすらぎに満ちたまちづくり

子育て環境の充実
健康づくり
医療・救急医療の充実
介護サービス・予防の充実
福祉対策の充実

2 誰もが住みたくなるまちづくり

生活環境（生活道路・公園等）の整備
上下水道の整備・充実
防災体制の充実
交通安全・防犯対策の推進
定住化の推進
情報化の推進

3 公平で効率の良いまちづくり

男女共同参画の推進
行財政改革の推進

● ● ● 子育て環境の充実 ● ● ●

○ 子育て支援医療費助成金支給事業

5,259.1 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

受給者証の交付を受けたお子さんが、県内の医療機関へ入院・通院等をした場合、受給者証と健康保険証を提示すると保険診療分の医療費は、無料となります。一部窓口無料にならない場合がありますが、その場合は翌月以降申請書に領収書が医療機関の証明を添付し、提出していただき、口座振込により助成します。

対象者は出生の日から満15歳に達する年の最初の3月31日までで、受給者証の申請をしない方は、助成が受けられません。

助成を受けるには申請手続きが必要になります。

● 財源内訳 ●

県	967.4 万円 (18.39 %)
町	4,291.6 万円 (81.6 %)
他	【 国保高額医療償還分 】
	0.1 万円 (0.01 %)

主な経費

子育て支援医療費の助成

	4,996 万円
審査支払手数料	257.2 万円
その他事務費	5.9 万円

○ ヒブワクチン接種事業

375.8 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

H i b (ヒブ) ワクチンは、子どもに髄膜炎などの重症な感染症を引き起こすインフルエンザb型を予防するためのワクチンです。

昨年度から一部助成を始めましたが、平成23年1月11日から平成24年3月31日まで公費の全額負担により窓口無料で接種出来ます。

対象年齢、接種回数は2カ月～7カ月未満児が4回、7カ月～12カ月未満児が3回、12カ月～5歳未満児が1回です。

主な経費

ヒブワクチン接種委託料 375.8 万円

● 財源内訳 ●

県	187.9 万円 (50 %)
町	187.9 万円 (50 %)



○ 小児肺炎球菌ワクチン接種事業

1,105.9 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

小児用肺炎球菌ワクチンは、子どもに細菌性髄膜炎などの重症な感染症を引き起こす肺炎球菌を予防するためのワクチンです。

昨年度から一部助成を始めましたが、平成23年1月11日から平成24年3月31日まで公費の全額負担により窓口無料で接種出来ます。

対象年齢、接種回数は2カ月～7カ月未満児が4回、7～12カ月未満児が3回、1歳～2歳未満児が2回、2歳～9歳児が1回です。

● 財源内訳 ●

県	305.7 万円 (28 %)
町	800.2 万円 (72 %)

主な経費

小児肺炎球菌ワクチン接種委託料 1,105.9 万円

● ● ● 子育て環境の充実 ● ● ●

○ 子宮頸がん予防ワクチン接種事業

845.7 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

子宮頸がん予防ワクチンは、発ガン性HPVの中でも子宮頸がんの原因として最も多く報告されているHPV16型と18型による感染を予防するためのワクチンです。日本産婦人科学会や日本小児科学会は11歳～14歳までを接種の推奨年齢としています。

本町では昨年度、小6～高校1年生相当までの女子に対し接種回数分(3回)を窓口無料で助成を行いました。

今年度は小6から高校3年生に相当する年齢まで助成を行います。

● 財源内訳 ●

県	582.5 万円 (69 %)
町	263.2 万円 (31 %)

主な経費

子宮頸がん予防ワクチン接種委託料
845.7 万円

○ ひとり親家庭医療費助成事業

913.5 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

ひとり親(母子家庭、父子家庭)家庭の父母の所得税が非課税で、かつ、ひとり親等の扶養義務者の所得が制限内である、親や18歳未満の児童で受給者証の交付を受けた方が、県内の医療機関へ入院・通院等をした場合、受給者証と健康保険証を提示すると保険診療分の医療費は、無料となります。

一部窓口無料にならない場合がありますが、その場合は翌月以降申請書に領収書か医療機関の証明を添付し、提出後、口座振込により助成します。

● 財源内訳 ●

県	490.6 万円 (53.71 %)
町	422.8 万円 (46.28 %)
他【国保高額療養費償還分】	0.1 万円 (0.01 %)

主な経費

ひとり親家庭医療費助成	869.4 万円
審査支払手数料	37.3 万円
その他事務費	6.8 万円



○ 乳幼児健康診査事業

246.4 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

乳児期から就学前までお子さんの健康診断を行います。1歳までの乳児は4回実施し、その後は1歳半、3歳、5歳児に実施します。2歳児は歯科のみとなります。1歳半の健診からは通知と問診票を個別郵送します。

病気や発育の早期発見、早期対応にお役立て下さい。

● 財源内訳 ●

町	246.4 万円 (100 %)
---	--------------------

主な経費

医師、保健師、看護師謝金
220.1 万円
その他事務費
26.3 万円

● ● ● 子育て環境の充実 ● ● ●

○ 母子健康手帳の交付と母親学級事業

27.9 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

母子健康手帳は、月に3回日を決めて、旧町3カ所で交付します。その際の「フレッシュママ教室」で、妊娠中の注意や各種制度、サービス等の説明をしています。

お急ぎの場合は、対応しますので担当の子育て支援係に問い合わせをして下さい。母親学級は年間3コースで実施します。

● 財源内訳 ●

町 27.9 万円 (100 %)

主な経費

母子手帳代	2.9 万円
助産師謝金	15 万円
その他事務費	10 万円

○ 予防接種事業

2,282.2 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

乳幼児の予防接種は、個別接種と集団接種（ポリオ）があり、集団接種（ポリオ）以外は、町内またはかかりつけ医療機関で、接種できるように委託しています。集団接種は日が決まっています。

平成20年度から5年間、麻疹・風疹の2種混合が中学1年生と、18歳（高校3年相当の方）の時期に接種することになりました。

個別接種は、決められた標準接種期間に予防接種台帳と母子健康手帳と保険証を持参して受けて下さい。

● 財源内訳 ●

町 2,282.2 万円 (100 %)

主な経費

乳幼児予防接種・個別接種委託料	2,252 万円
集団接種医師・看護師謝金	16 万円
医薬材料費	14.2 万円

○ 不妊治療費助成事業

140 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

不妊症で悩む夫婦の経済的負担を軽減する事を目的として、不妊症の治療に要する費用の一部を助成します。

国内の医療機関において不妊症と診断され、その治療を受けている夫婦で、1年以上市川三郷町に住所を有し医療保険各法の規定による被保険者または、被扶養者であり町税などを滞納していない方に助成します。

助成額は自己負担の1/2とし、20万円を限度に通産5年間で助成回数は1会計年度（4月から翌3月）に1回です。

主な経費

不妊治療費助成金	140 万円
----------	--------

● 財源内訳 ●

町 140 万円 (100 %)

● ● ● 子育て環境の充実 ● ● ●

○ 放課後児童健全育成事業

2,688.1 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

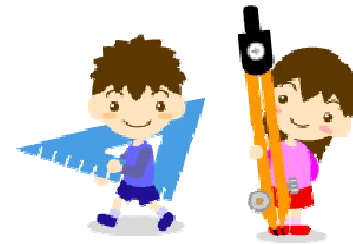
保護者が就労等により、家庭において適切な保護を受けることができない児童（主に小学校3年生まで）に対し、学校の授業終了後に、児童館や公民館等の施設を利用し、遊びや生活の場を与えて保護者が迎えに来るまで児童を預かる事業です。町内6つの小学校に対して、8カ所の放課後児童クラブを設置しています。

● 財源内訳 ●

県	1,354.7 万円 (50 %)
町	1,307.4 万円 (49 %)
他	【 延長保育利用料 】
	26 万円 (1 %)

主な経費

指導員賃金など	2,428.5 万円
施設維持費	147.1 万円
その他事務費	112.5 万円



○ 地域子育て支援センター事業

488.4 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

三珠児童館、富士見保育所2階、市川大門町民会館1階児童室、六郷ふれあいセンターの町内4カ所で主に乳幼児の子育て中の親子が集まり、子どもを遊ばせながら育児に関する情報交換、育児相談、また毎月様々なイベントを実施して、子育てを楽しくできる支援を行っています。

● 財源内訳 ●

国	170.5 万円 (35 %)
町	317.9 万円 (65 %)

主な経費

指導員賃金など	334.8 万円
イベント、講座講師謝金等運営費	153.6 万円



○ 次世代育成支援地域対策事業

322.2 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

平成15年7月に次世代育成支援対策推進法が制定されたのに伴い、本町でも次世代育成支援地域行動計画を策定しました。計画の柱には保育園の一時預かり事業、育児支援家庭訪問事業等が盛り込まれています。また、ファミリーサポート事業も実施し、子育て環境の充実に努めています。

● 財源内訳 ●

国	161.1 万円 (50 %)
町	161.1 万円 (50 %)

主な経費

育児支援家庭訪問事業	18 万円
ファミリーサポート事業	59 万円
一時預かり事業	131.3 万円
その他	113.9 万円



● ● ● 子育て環境の充実 ● ● ●

○ 子育て祝い金

270 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

町の子育て支援策の一環としての事業で、お子さんが小学校入学時の祝い金として、1人2万円の支給をする制度です。平成23年度は135人を予定しています。

各小学校に入学後、各学校を通してお子さんに申請書を配布いたします。申請手続きをしていただき指定の口座へ振り込みます。

主な経費
祝い金

270 万円

● 財源内訳 ●

町 270 万円 (100 %)



○ 子ども手当支給事業

3億1,120.2 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

平成22年4月から児童手当に代わり「子ども手当」の支給が始まり中学3年生までの児童を持つ保護者に児童1人あたり月額13,000円が支給されました。

今年度も引き続き13,000円が支給される予定です。

主な経費

子ども手当支給費
事務費

3億1,077.2 万円
43 万円

● 財源内訳 ●

国 2億4,855.9 万円 (79.9 %)
県 3,153.5 万円 (10.1 %)
町 3,110.8 万円 (10 %)



○ 妊婦一般健康診査費助成事業

864.1 万円

(担当: いきいき健康 課 子育て支援 係)

母子健康手帳の交付を受けた妊婦さんに、出産までの妊婦一般健康診査14回分の費用を助成する事業です。

母子健康手帳交付の際に、妊婦一般健康診査受診票を14回分お渡しいたします。昨年度までは6,000円を上限に助成していましたが今年度はH T L V - 1抗体検査及びクラミジア抗原検査も助成の対象になりました。

転入された場合は、転出した市町村で交付された受診票と交換いたしますので窓口でお尋ね下さい。

主な経費

医療機関検査委託料
事務費

852.5 万円
11.6 万円

● 財源内訳 ●

県 340.9 万円 (39 %)
町 523.2 万円 (61 %)

● ● ● 子育て環境の充実 ● ● ●

○ 保育の実施及び保育所地域活動事業

3億6,424.7 万円

(担当: 保育 課 保育 係)

保護者が働いていたり、病気の状態にあるなどのために家庭において、十分保育することができない児童を家庭の保護者に代わって0歳から5歳までの乳幼児を保育しています。

町内には、町立6保育所と私立3保育園があり、保育にあたっては、通常保育のほか保護者のニーズに応え、延長保育(早朝・残留)や一時預かり等なども実施しています。

保育所地域活動事業は、園児と祖父母、地域のお年寄りや小・中学校、高校生、就園前の在宅児童と入園児とのふれあい活動の事業を実施しています。

入所・入園は、随時受付けておりますので希望する保育所、保育園まで、お気軽にご相談下さい。

主な経費

人件費(職員・臨時職員)	1億9,306 万円
保育材料・賄材料等	2,285.0 万円
施設維持管理費	1,556.8 万円
町内私立保育園運営費委託料・広域入所委託料	1億1,366.6 万円
延長保育・一時預かり事業補助金	1,683.1 万円
通園バス運営費	182.7 万円
地域活動事業	44.5 万円

● 財源内訳 ●

国	3,680.2 万円 (10 %)
県	2,679.1 万円 (7.4 %)
町	1億9997.4 万円 (55 %)
他	保護者負担金・広域受託金 古屋振興基金繰入金 1億68 万円 (27.6 %)

● ● ● 健康づくり ● ● ●



○ DV対策及び自殺対策相談員配置事業

319.9 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

DV対策及び自殺対策相談員を配置することにより、心と体を元気にし、きめ細かな支援を行うことを目的にしています。特に自殺者は、毎年3万人と増加の一途をたどっており、相談員配置の取り組みによって、自殺率の減少を図ります。

主な経費

人件費	289.4 万円
電話代	8.9 万円
その他事務費	21.6 万円

● 財源内訳 ●

町	9.9 万円 (3 %)
他	基金繰入金 310 万円 (97 %)

○ 女性特有のがん検診推進事業

369.6 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

検診「無料クーポン券」を、配布します。対象者は子宮頸がん検診は、20・25・30・35・40歳に、乳がん検診は、40・45・50・55・60歳の女性です。近年若い女性に子宮及び乳がんが増加しています。受診によりがんの早期発見、早期治療できます。また、健やかな生活を支援します。

主な経費

検査委託料	332.5 万円
検診手帳・クーポン券等作成料	17.9 万円
その他事務費	19.2 万円

● 財源内訳 ●

国	184.7 万円 (50 %)
町	184.9 万円 (50 %)

●●●健康づくり●●●

○ 肺炎球菌ワクチン接種事業

51.5 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

肺炎球菌が原因となる肺炎などの感染症を予防するためのワクチン接種費用の一部(4,000円)を、65歳以上高齢者に助成します。1回の接種で約5年間は効果が続き、肺炎の重症化や肺炎による死亡の減少が期待でき、5年以降の再接種も可能になりました。年間を通じて、町内7医療機関で接種を受けることができます。

主な経費

接種費用助成額	50.5 万円
その他事務費	1 万円

●財源内訳●

町	51.5 万円 (100 %)
---	-------------------

○ 地域自殺対策緊急強化事業

50 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

自殺に追い込まれる人を一人でも減らすため、住民の一人ひとりが、周りの人の悩みに気づき、耳を傾けるなど自発的な行動ができるように、自殺予防普及啓発パンフレットを各世帯に配布します。

主な経費

自殺予防啓発パンフレット	50 万円
--------------	-------

●財源内訳●

県	50 万円 (100 %)
---	-----------------

○ 各種がん検診事業

3,759.8 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

がんは早期発見・早期治療が第一です。健康寿命の延伸及び早世予防等を目的に、胃、子宮、乳、肺、大腸、肝等の各がん検診が、最寄の地区で気軽に受診できます。

主な経費

検査機関への委託金	3,660.7 万円
その他事務費	99.1 万円

●財源内訳●

県	27.1 万円 (1 %)
町	2,906.1 万円 (77 %)
他【受診者負担・JA負担】	826.6 万円 (22 %)

○ 結核検診事業

218.6 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

65歳以上の町民を対象に結核予防を目的に、胸部レントゲン検査を行います。

主な経費

検査機関への委託	181.7 万円
その他事務費	36.9 万円

●財源内訳●

町	218.6 万円 (100 %)
---	--------------------

・・・健康づくり・・・

○ 人間ドック事業

742.2 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳の節目年齢の町民を対象に、人間ドックを実施します。

主な経費

検査機関への委託料	740.5 万円
その他事務費	1.7 万円

●財源内訳●

県	32.2 万円 (4 %)
町	462 万円 (63 %)
他 【 受診者負担金,各保険者負担金 】	248 万円 (33 %)

○ 各健康教室(いきいき・はつらつ貯筋教室、メタボリック予防教室他)

112.3 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

いきいき・はつらつ貯筋教室は、高齢になっても自立して生活が送れるよう、筋力の貯金(筋)を目的に、いつでもどこでもできる簡単な体操をします。メタボリック予防教室や健康料理教室等では、生活習慣の見直しをしながら健康づくり・病気の予防に取り組んでいます。

主な経費

講師、運動指導士謝金	86.2 万円
パンフレット他事務費	26.1 万円

●財源内訳●

県	45.2 万円 (40 %)
町	39.5 万円 (35 %)
他 【 参加者個人負担金 】	27.6 万円 (25 %)

○ ニードスポーツセンターの管理運営

3,242 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

当センターはオープンして6年目をむかえました。フィットネスルームには多数の最新トレーニングマシンを備えています。町民及び近隣の住民皆様の体力づくり・健康増進のために利用されています。

主な経費

指導員、受付事務委託費	2,002.2 万円
その他維持・管理経費	1,239.8 万円

●財源内訳●

町	2,367.6 万円 (73 %)
他 【 使用料、受託販売等 】	874.4 万円 (27 %)

○ 六郷の里(つむぎの湯・いきいきセンター)管理事業

5,972.2 万円

(担当: いきいき健康 課 健康増進 係)

町民の健康増進と地域の活性化を目的とした施設である六郷の里(つむぎの湯・いきいきセンター)の維持管理を行います。

主な経費

燃料・光熱水費	2,217.9 万円
清掃・機械保守等施設維持管理費	1,083 万円
温泉水中ポンプ入替え及びオーバーホール	776.8 万円
その他維持・管理経費	1,894.5 万円

●財源内訳●

町	3,972.7 万円 (67 %)
他 【 入湯料・受託販売手数料等 】	1,999.5 万円 (33 %)

○ 老人医療費助成金支給事業

610.5 万円

(担当: 町民 課 国保年金 係)

非課税世帯に属する68歳と69歳の方の医療費負担を軽減するための事業です。
該当する方には町からお知らせし、申請の後、受給者証を発行します。

主な経費

老人医療助成費	585.2 万円
審査支払手数料	25.3 万円

●財源内訳●

県	305.2 万円 (50 %)
町	305.3 万円 (50 %)

○ 国民健康保険事業

20億1,765 万円

(担当: 町民 課 国保年金 係)

国民健康保険は、地域保険の中核として町が運営する医療保険制度です。

国民健康保険では、加入者の皆さんが病気やケガをしたときにかかった医療費の負担をするほか、高額療養費や出産育児一時金の支給など各種保険給付を行います。

国民健康保険事業は、加入者の皆さんに納めていただく保険税や国、県支出金などを財源とし、特別会計で運営しています。

●財源内訳●

国	5億1,672.5 万円 (26 %)
県	1億5,464.7 万円 (8 %)
町	5,605.2 万円 (2 %)
他	【 国民健康保険税、その他交付金など 】
	12億9,022.6 万円 (64 %)

主な経費

保険給付費	13億2,462.9 万円
共同事業拠出金	2億5,883.2 万円
後期高齢者支援金	2億4,276 万円
介護納付金	1億768.7 万円
保健事業費	2,577.2 万円
総務費など	5,797 万円



○ 後期高齢者医療事業

1億9,182.3 万円

(担当: 町民 課 国保年金 係)

75歳以上(障害要件の65歳以上含む)の方々を対象にした医療保険制度で、対象者全員が加入します。

この制度は、加入者の皆さんに納めていただく保険料のほか、現役世代の方々の支援金などによって支えられています。

山梨県後期高齢者医療広域連合が運営主体となりますが、各種手続きやご相談は役場窓口でお受けします。

●財源内訳●

町	2,517.3 万円 (13 %)
他	【 保険料、保険基金安定繰入金など 】
	1億6,665 万円 (87 %)

主な経費

後期高齢者医療広域連合納付金	1億7,568.5 万円
保健事業費委託料	608 万円
一般管理費	1,005.8 万円



● ● ● 医療・救急医療の充実 ● ● ●

○ 国民健康保険直営診療所運営事業

8,951.2 万円

(担当: 町民 課 国保年金 係)

国保診療所は、地域医療の充実を期するため、地域のニーズに即した医療サービスを心がけています。

診療科目は内科及び整形外科です。

国保診療所は、診療報酬収入や患者さんの窓口負担金などを財源に運営されています。

● 財源内訳 ●

町	2,719 万円 (30 %)
他	【 診療報酬収入など 】
	6,232.2 万円 (70 %)



国保診療所外観

主な経費

施設管理費	5,492.5 万円
医療用機械器具費	396.9 万円
医療用消耗機材費	225.9 万円
医薬品衛生材料費	2,835.9 万円

● ● ● 介護サービス・予防の充実 ● ● ●

○ 介護保険事業

17億3,529.1 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

介護保険は、介護が必要な方が住みなれた地域で安心して生活できるように保健医療サービスと福祉サービスを行うとともに、介護が必要とならないように普段から介護予防に心がける事業を併せて実施しています。

主な経費

介護給付費	16億3,609.1 万円
包括支援事業	4,744.4 万円
その他	5,175.6 万円

● 財源内訳 ●

国	4億7,137.4 万円 (27 %)
県	2億1,286.4 万円 (12 %)
町	2億8,230.3 万円 (17 %)
他	【 介護保険料、その他 】
	7億6,875 万円 (44 %)

○ 社会福祉法人等による利用者負担軽減事業

212 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度です。本来の負担割合である10%の内1/4を軽減しています。

主な経費

社会福祉法人等による利用者負担軽減事業	212 万円
---------------------	--------

● 財源内訳 ●

県	159 万円 (75 %)
町	53 万円 (25 %)

● ● ● 介護サービス・予防の充実 ● ● ●

○ 配食サービス事業

959.9 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

一人暮らしの高齢者、高齢者だけの世帯や障害者、食事を調理することが困難な方を対象に配食サービスを行っています。利用負担額は町民税非課税世帯で本人年金収入等が80万円以下の65歳以上の方は一食250円、それ以外の方は一食350円です。

主な経費

運営委託料	17.6 万円
調理・配達委託料	942.3 万円

● 財源内訳 ●

町	620.3 万円 (65 %)
他	【 利用者負担金 】
	339.6 万円 (35 %)

○ 外出支援サービス事業

262.4 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

一般の交通機関を利用することが困難な方のうち、寝たきりの方、車イス利用の方、リフト車を使わなければ外出できない方を、自宅から町内の医療機関(病院、診療所)へ送迎します。片道200円負担です

主な経費

運営委託料	262.4 万円
-------	----------

● 財源内訳 ●

町	255 万円 (97 %)
他	【 利用者負担金 】
	7.4 万円 (3 %)

○ 高齢者生きがい活動支援通所事業

1,005 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

日常生活訓練や趣味活動等各種サービスを提供し、介護が必要な状態にならないように予防を中心とした自立高齢者のためのデイサービス事業です。市川地区一回400円/三珠地区一回200円/六郷地区一回350円です。各地区食事代は別途自己負担となります。

主な経費

運営委託料(三珠地区)	111.2 万円
運営委託料(市川地区)/保守点検委託料	593.8 万円
運営委託料(六郷地区)	300 万円

● 財源内訳 ●

町	905.3 万円 (90 %)
他	【 利用者負担金 】
	99.7 万円 (10 %)

○ 軽度生活援助事業

45.6 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

町民税非課税世帯で一人暮らしの高齢者または高齢者・障害者世帯にシルバー人材センターから人材を派遣する事で生活支援を行う事業です。シルバー人材センター利用料金の1割を自己負担することで、当該年度内に2回まで利用可能です。その他経費、材料費は別途自己負担となります。

主な経費

委託料	45.6 万円
-----	---------

● 財源内訳 ●

町	40.8 万円 (89 %)
他	【 利用者負担金 】
	4.8 万円 (11 %)

●●●介護サービス・予防の充実●●●

○ 訪問理容・美容サービス事業

4.5 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

寝たきり等で理髪店等にいけない方が理容師、美容師の訪問により理容・美容を受けたとき、その出張代金の一部を支援する事業です。町民税非課税世帯で寝たきり、または歩行困難な方に対して、一回1,500円分・年3回の利用券を助成しています。

主な経費

訪問理美容報償費

4.5 万円

●財源内訳●

町 4.5 万円 (100 %)

○ 家族介護用品の支給事業

97.5 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

要介護度3～5で町民税非課税世帯の要介護者の方を自宅で介護している家族に対して、家族介護用品(おむつ等)の支援をしています。

主な経費

運営委託料

97.5 万円

●財源内訳●

町 97.5 万円 (100 %)

○ 緊急通報体制等整備事業(ふれあいペンダント)

303.6 万円

(担当: 福祉支援 課 介護 係)

一人暮らしの虚弱な高齢者の方が急病や事故などで緊急に助けが必要な時、ペンダントまたは本体のボタンを押すことで24時間体制の消防署が対応し、登録した近所の協力員等が駆けつけるシステムです。

主な経費

運営委託料

303.6 万円

●財源内訳●

町 303.6 万円 (100 %)



徘徊SOSネットワーク事業

10.8 万円

(担当: 福祉支援 課 包括支援 係)

認知症により、外出時に自分がどこにいるのかわからなくなり、行方不明になってしまうことがあります。SOSネットワークは、事前に届出をしておくことで、一刻も早く発見し、ご家族の元へ帰れるよう高齢者の生命と安全を守るための支援システムです。

主な経費

需用費

10.8 万円

●財源内訳●

国	4.3 万円 (	40 %)
県	2.2 万円 (	20 %)
町	2.1 万円 (	20 %)
他	2.2 万円 (	20 %)
【 1号介護保険料 】		

●●●介護サービス・予防の充実●●●

○ 二次予防事業（運動機能向上教室）

800 万円

（担当： 福祉支援 課 包括支援 係）

二次予防事業対象者（運動機能向上教室に参加できる方）となった高齢者の方に対し、寝たきり等を予防して、自宅で生き生きとした生活を営むことができるよう、筋力をつける教室を行います。市川三郷町立病院に委託し、週2回、3カ月間実施します。

主な経費

委託料

800 万円

●財源内訳●

国	200 万円 (	25 %)
県	100 万円 (	12.5 %)
町	100 万円 (	12.5 %)
他	【 介護保険料等 】	
	400 万円 (	50 %)

○ 二次予防事業（対象者把握事業）他

207.7 万円

（担当： 福祉支援 課 包括支援 係）

介護等の認定を受けていない高齢者の方に、アンケートに答えてもらい、二次予防事業対象者（運動機能向上教室に参加できる方）を選びます。また、一次予防事業として口腔機能向上、認知症予防事業を行います。

主な経費

委託料

207.7 万円

●財源内訳●

国	51.9 万円 (	25 %)
県	25.9 万円 (	12.5 %)
町	26 万円 (	12.5 %)
他	【 介護保険料等 】	
	103.8 万円 (	50 %)

○ 地域包括支援センター運営事業（地域支援事業分）

3,511.9 万円

（担当： 福祉支援 課 包括支援 係）

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活するために、介護サービス等が状態に応じて切れ目無く提供され、高齢者の生活を支える総合機関として地域包括支援センターが設置されています。（福祉支援課内にあります）

主な経費

報酬、賃金、人件費、使用料、需用費等

3,511.9 万円

●財源内訳●

国	1,371 万円 (	40 %)
県	685.5 万円 (	20 %)
町	769.9 万円 (	20 %)
他	【 1号介護保険料 】	
	685.5 万円 (	20 %)

○ 高齢者虐待防止ネットワーク事業

23.7 万円

（担当： 福祉支援 課 包括支援 係）

地域の関係機関や住民の皆さんと連携しながら、高齢者虐待の予防と早期発見・再発防止、また予防が図れるよう、ネットワークづくりをしていきます。

主な経費

報酬・報奨費

11.8 万円

需用費

11.9 万円

●財源内訳●

国	9.4 万円 (	40 %)
県	4.7 万円 (	20 %)
町	4.9 万円 (	20 %)
他	【 1号介護保険料 】	
	4.7 万円 (	20 %)

● ● ● 介護サービス・予防の充実 ● ● ●

○ 介護予防支援計画作成（予防ケアプラン）

458.3 万円

（担当： 福祉支援 課 包括支援 係）

介護認定者のうち要支援 1 及び 2 に認定された方の介護予防支援計画（予防ケアプラン）を作成します。プラン作成は業者に委託し、地域包括支援センターではプランと評価の適正について点検確認をしています。

主な経費

介護予防支援計画委託料

458.3 万円

● 財源内訳 ●

他 【 介護報酬他 】

458.7 万円 (100 %)

● ● ● 福祉対策の充実 ● ● ●

○ 救急医療情報キット配布事業

3.6 万円

（担当： 福祉支援 課 福祉 係）

高齢者世帯に対し万が一の救急時に備え、かかりつけ医や服薬内容などの医療情報を入れた容器を冷蔵庫に保管し、消防隊員との協力でその情報を救急医療に役立てます。

● 財源内訳 ●

町 3.6 万円 (100 %)



主な経費

救急医療情報キット購入費

3.6 万円

○ シルバー人材センターへの助成

462.2 万円

（担当： 福祉支援 課 福祉 係）

急速に進む高齢社会の中で、働く機会を得たい、社会に役立つ仕事をしたいという高齢者の希望に応えるため、高齢者が主体となった共助の組織であるシルバー人材センターに事業費の一部を助成しています。

主な経費

シルバー人材センター負担金

462.2 万円

● 財源内訳 ●

町 462.2 万円 (100 %)

● ● ● 福祉対策の充実 ● ● ●

○ 重度心身障害者往診交通費助成事業

30 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

慢性的な疾病等により医療機関に定期的かつ長期的に往診を受ける必要のある重度心身障害者に対し、当該往診に要する交通費について助成を行います。

主な経費

重度心身障害者往診交通費助成事業 30 万円

● 財源内訳 ●

町 30 万円 (100 %)

○ 自立支援給付

2億7,021.1 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

障害者が地域や施設において自立した生活を営むための支援を行います。生活上または療養上の必要な介護を行う「介護給付」と、身体的、社会的なりハビリや就労につながる支援を行う「訓練等給付」があります。

主な経費

介護給付費 - 旧法施設支援費(入所) 3,542.5 万円
介護給付費 - 旧法施設支援費(通所) 545.8 万円
介護給付費 - 生活介護 6,119.7 万円
他介護給付費、訓練等給付費 1億6,813.1 万円

● 財源内訳 ●

国 1億3,510.5 万円 (50 %)
県 6,755.2 万円 (25 %)
町 6,755.4 万円 (25 %)

○ 地域生活支援事業

2,080 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

自立支援給付とは別に、市町村の創意工夫により、利用者の状況に応じて柔軟に実施できる事業で、移動支援事業、日中一時支援事業などさまざまな事業を実施しています。

主な経費

日常生活用具給付等事業 510.2 万円
地域活動支援センター機能強化事業 779 万円
相談支援事業 323.4 万円
他地域生活支援事業 467.4 万円

● 財源内訳 ●

国 720.9 万円 (35 %)
県 360.4 万円 (17 %)
町 998.7 万円 (48 %)

○ 補装具費の給付

506 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

身体障害児者が日常生活や社会生活を向上させるため、身体機能を補う用具の交付や修理への助成を行います。(原則として1割が自己負担です。)

主な経費

身体障害児者補装具給付費 506 万円

● 財源内訳 ●

国 253 万円 (50 %)
県 126.5 万円 (25 %)
町 126.5 万円 (25 %)

● ● ● 福祉対策の充実 ● ● ●

○ 重度心身障害者医療費助成事業 1億1,277.7 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

障害者の健康の増進と福祉の向上を図るため、重度心身障害者に対して、通院・入院に要した医療費の保険給付に係る個人負担分を助成します。

主な経費

重度心身障害者医療費助成費	1億1,066.5 万円
レセプト審査手数料	211.2 万円

● 財源内訳 ●

県	5,709.9 万円 (51 %)
町	4,068.7 万円 (36 %)
他【高額療養費】	1,499.1 万円 (13 %)

○ 自立支援医療（更生医療）の助成 2,970.4 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

身体障害者手帳所持者を対象に、障害の軽減や機能回復に必要な医療費（人工透析・経皮的冠動脈形成術ほか）などの一部を助成します。

主な経費

更生医療給付費	2,960.9 万円
レセプト審査手数料	9.5 万円

● 財源内訳 ●

国	1,480.4 万円 (50 %)
県	740.2 万円 (25 %)
町	749.8 万円 (25 %)

○ 重度心身障害者等福祉タクシー利用料金助成事業 687.9 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

心身に重度の障害のある方や高齢者が、通常の交通機関を利用することが困難なためタクシーを利用する場合にその一部を助成します。経済的負担の軽減により、生活の行動範囲を広げ、社会参加の促進を図っています。

● 財源内訳 ●

県	41.7 万円 (6 %)
町	646.2 万円 (94 %)



主な経費

重度心身障害者等タクシー利用助成金	678.1 万円
利用券印刷代	9.8 万円

○ 心身障害者福祉手当給付事業 120 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

心身障害者の福祉の向上を図ることを目的に、心身障害者を保護している方に対して福祉手当を月2,000円支給します。（町民税非課税世帯に限ります）

主な経費

心身障害者福祉手当給付事業	120 万円
---------------	--------

● 財源内訳 ●

町	120 万円 (100 %)
---	------------------

● ● ● 福祉対策の充実 ● ● ●

○ 心身障害児者一時養護サービス事業

60 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

概ね65歳未満の心身障害児者の一時養護サービスの利用に対し、利用料の一部を助成することにより、障害児者を抱える家族の心身の負担の軽減を図ります。

主な経費

心身障害児者一時養護サービス利用料 60 万円

● 財源内訳 ●

町 60 万円 (100 %)

○ 介助用自動車購入等助成事業

40 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

車椅子等を使用する在宅の重度心身障害者や寝たきり高齢者が、自動車をリフト付き等に改造する経費または改造された自動車を新規に購入する経費を助成します。

● 財源内訳 ●

県 20 万円 (50 %)

町 20 万円 (50 %)



主な経費

介助用自動車購入等助成費 40 万円

○ 難病患者等短期入所事業

40.2 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

在宅療養が可能な程度に症状が安定していると医師に判断された難病患者が、居宅において一時的に介護ができないとき、施設に短期入所させることにより、患者及び家族の支援を図ることを目的としています。

主な経費

難病患者等短期入所事業費 40.2 万円

● 財源内訳 ●

県 20 万円 (50 %)

町 20.2 万円 (50 %)

○ 米寿の祝い事業

93.5 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

米寿の記念事業として、88歳を迎えた高齢者に記念写真と座布団を贈り長寿を祝福します。

● 財源内訳 ●

町 93.5 万円 (100 %)

主な経費

座布団、写真等消耗品費 61.4 万円

写真現像代 32.1 万円



● ● ● 福祉対策の充実 ● ● ●

○ 百歳の祝い事業

576 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

百歳の誕生日を迎えた高齢者に、祝い金を贈り、長寿を祝福します。
また、百歳の誕生日の翌月から、百歳年金を支給します。

主な経費

百歳年金	306 万円
百歳祝い金	270 万円

● 財源内訳 ●

町 576 万円 (100 %)

○ 敬老祝い金支給事業

188.9 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

敬老の日を記念して高齢者に祝い金を支給します。

主な経費

敬老祝い金	188.2 万円
消耗品費	0.7 万円

● 財源内訳 ●

町 188.9 万円 (100 %)

○ 敬老会運営費の助成

532.8 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

敬老の日を記念して、社会福祉協議会、公民館、民生委員児童委員、区長会などが中心となり、75歳以上の高齢者を招待して敬老会を開催するための運営費の助成をしています。

主な経費

敬老会運営費補助金	532.1 万円
消耗品費	0.7 万円

● 財源内訳 ●

町 532.8 万円 (100 %)



敬老会の様子

○ 寝たきり老人等介護慰労金支給事業

162 万円

(担当: 福祉支援 課 福祉 係)

寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している家族に慰労金を支給することで、介護の労苦に報いるとともに要介護者の在宅生活を支援しています。

主な経費

寝たきり老人等介護慰労金	162 万円
--------------	--------

● 財源内訳 ●

町 162 万円 (100 %)



● ● ● 福祉対策の充実 ● ● ●

○ 老人福祉施設措置事業（老人ホーム入所への助成）

5,777.4 万円

（担当： 福祉支援 課 福祉 係）

身体、精神または経済上の理由により、居宅で養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者を老人ホームに入所させ養護します。なお、入所者本人と扶養義務者は収入に応じて一部費用負担があります。

● 財源内訳 ●

町	5,113.2 万円 (	89 %)
他	【 利用者負担金 】	
	664.2 万円 (	11 %)

主な経費

老人福祉施設措置費	5,771 万円
入所判定委員報酬	6.4 万円



○ シルバーハウジング生活援助員派遣事業

138.9 万円

（担当： 福祉支援 課 福祉 係）

町営富士見団地内の緊急通報システム等を備えたシルバーハウジング（高齢者世話付き住宅）に居住する高齢者が自立して安全な生活ができるよう、ライフサポートアドバイザー（生活援助員）を派遣する事業です。社会福祉協議会へ業務委託して実施しています。

● 財源内訳 ●

町	128 万円 (	92 %)
他	【 利用者負担金 】	
	10.9 万円 (	8 %)

主な経費

生活援助員派遣事業委託料	108.5 万円
緊急通報システム監視業務委託料	16.3 万円
監視システム電話回線使用料等	14.1 万円



○ 老人クラブへの助成等

573 万円

（担当： 福祉支援 課 福祉 係）

概ね65歳以上の在宅高齢者が相互の親睦を図り、生き甲斐をもって豊かな老後を過ごすために老人クラブ連合会及び単位老人クラブへの助成を行っています。

また、高齢者友愛訪問事業等を老人クラブに委託して実施しています。

● 財源内訳 ●

県	143.4 万円 (	25 %)
町	429.6 万円 (	75 %)

主な経費

老人クラブ補助金	573 万円
----------	--------



● ● ● 生活環境（生活道路・公園等）の整備 ● ● ●

○ 地球環境保全事業

279.5 万円

(担当: 生活環境 課 環境衛生 係)

可燃物となる生ごみの排出を減らすため、生ごみ処理機械の購入費用の一部を助成します。(補助上限額 25,000円)

住宅用太陽光発電システム機器を設置し、化石燃料を削減、環境への負荷を減らす為、設置者個人に奨励金を交付します。(奨励金上限額 120,000円)

ごみを減らすため、地球温暖化を防止するため、身近でできる事から始めましょう。

● 財源内訳 ●

町 279.5 万円 (100 %)

主な経費

生ごみ処理機購入費補助金	25 万円
自然エネルギー有効利用促進奨励金	240 万円
第4回環境講演会講師料	12 万円
その他経費	2.5 万円



○ 衛生（ごみ、し尿、火葬）事業

3億4,140 万円

(担当: 生活環境 課 環境衛生 係)

私たちが生活する上で必ず出てくるごみ・し尿・火葬の処理を行っているのがこの衛生事業です。また、ごみを資源として再生利用するため、リサイクルステーションの活用を推進します。

● 財源内訳 ●

町 3億3,775.8 万円 (99 %)
他 [有価物還元金・手数料]
364.2 万円 (1 %)

主な経費

ごみ収集運搬費	4,263.9 万円
ごみ処理場・火葬場・し尿処理場運営費	2億9,528.5 万円
有価物還元事業(リサイクルの推進)	251.5 万円
その他の経費	96.1 万円



● ● ● 生活環境（生活道路・公園等）の整備 ● ● ●

○ 衛生巡視事業

295.8 万円

(担当: 生活環境 課 環境衛生 係)

河川監視、廃棄物監視、不法投棄監視などを行う巡視員を設置し、次々と起こる問題の発見、対応を行っています。

● 財源内訳 ●

町 295.8 万円 (100 %)

主な経費

巡視員賃金など	203.1 万円
その他の経費	92.7 万円



○ 公害対策事業

59.3 万円

(担当: 生活環境 課 環境衛生 係)

河川、工場排水、地下水に異常があるか検査を行い環境保全に努めています。

● 財源内訳 ●

町 59.3 万円 (100 %)

主な経費

水質検査委託料など	50.8 万円
その他の経費	8.5 万円

○ 狂犬病予防及び犬猫保護対策事業

117.1 万円

(担当: 生活環境 課 環境衛生 係)

狂犬病はすべての哺乳類に感染するウイルス性の病気です。発病すると死亡率が100%に至ります。

近隣の国では、たくさんの方が命を落としています。日本に入ってきてても食い止められるよう、予防接種をすることが大変重要です。犬猫の飼い主の責任も重大です。

● 財源内訳 ●

町 117.1 万円 (100 %)

主な経費

狂犬病予防及び犬猫保護対策費	17.3 万円
犬猫の避妊・去勢手術費補助金	99.8 万円



● ● ● 生活環境（生活道路・公園等）の整備 ● ● ●

○ 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 1,276 万円

（担当： 建設 課 公共土木 係）

道路橋梁の長寿命化を図るため、調査を行い、修繕及び架替え等の計画を策定する事業です。

主な経費	
委託費	1,276 万円

● 財源内訳 ●	
国	580 万円 (45 %)
町	696 万円 (55 %)

○ 生活関連道路の整備事業 1,800 万円

（担当： 建設 課 公共土木 係）

生活に密着した道路の安全性や利便性を向上するため、町道の改良や維持・修繕を行います。

主な経費	
交通安全施設工事	300 万円
町道維持修繕工事	1,500 万円

● 財源内訳 ●	
国	380 万円 (21 %)
他	
【 合併特例事業債・交通安全対策特別交付金 】	
	1,420 万円 (79 %)

○ 町道の維持・管理事業 700 万円

（担当： 建設 課 公共土木 係）

町道の補修や管理を行います。傷んでいる道路の簡易な補修やカーブミラーの設置など日常の安全を確保するように努めます。

主な経費	
作業員賃金	300 万円
機械使用料	150 万円
工事材料費	250 万円

● 財源内訳 ●	
町	700 万円 (100 %)

○ 河川の整備事業 1,000 万円

（担当： 建設 課 公共土木 係）

生活に密着した河川や水路の安全性や利便性を向上するため、河川の改良や維持・修繕を行います。

主な経費	
工事費	1,000 万円

● 財源内訳 ●	
町	50 万円 (5 %)
他	
【 合併特例事業債 】	
	950 万円 (95 %)

● ● ● 生活環境（生活道路・公園等）の整備 ● ● ●

○ 河川の維持・管理事業

250 万円

（担当： 建設 課 公共土木 係）

河川の補修や管理を行います。傷んでいる水路の簡易な補修など日常の安全を確保するように努めます。

主な経費

作業員賃金	100 万円
機械使用料	90 万円
工事材料費	60 万円

● 財源内訳 ●

町	162 万円 (65 %)
他 【 富士川排水樋管操業委託金 】	88 万円 (35 %)

○ 市川地区中央部まちづくり事業

8,991 万円

（担当： 建設 課 都市計画 係）

市川地区中央部の、住み続けられるまちを目指し、「市川の歴史・文化・風景を活かしたまちづくり」に取り組んでいます。

● 財源内訳 ●

国	3,905 万円 (43 %)
町	5,086 万円 (57 %)

主な経費

設計委託料	180 万円
道路等工事請負費・補償費	8,711 万円
市川地区中央部まちづくり研究会補助金	100 万円



昨年の紙のまち生き生きまつりの様子

○ 狭あい道路拡幅整備事業

670 万円

（担当： 建設 課 都市計画 係）

都市計画区域内の狭あい道路（1.8m以上4.0m未満）を建築行為時などに道路の中心から2mの後退をお願いし、時間をかけて4mの道路に整備します。

主な経費

後退用地分筆作業等委託料	200 万円
後退部舗装等工事費	370 万円
後退部塀等撤去・新設費助成金	100 万円

● 財源内訳 ●

国	100 万円 (15 %)
町	570 万円 (85 %)

● ● ● 上下水道の整備・充実 ● ● ●

○ 上水道事業の運営及び施設整備

2億6,259.2 万円

(担当: 生活環境 課 上水道 係)

上水道事業運営経費

(1) 水道事業費用 1億6,497.8万円

安定的に水道水を供給するための水源や排水施設の運営費用

(2) 投資的経費 9,761.4万円

古い水道管の更新や配水施設の整備

○ 経費に比べ財源が不足しています。この不足額は、料金改定及び減価償却費等の留保資金で賄っています。

主な経費

水源や浄水場の運転経費(ポンプ電気料、水質検査料)	2,259.7 万円
水道メーターの検針、料金徴収、施設維持保守費	514.2 万円
施設整備時に借り入れた元利償還金	6,354.7 万円
下水道工事等に伴う配水管等の布設替工事費	4,072.6 万円
下水道工事等に伴う配水管等の布設替工事設計委託	746 万円
水道メーターの購入経費等	217.4 万円
減価償却費	7,671.5 万円

● 財源内訳 ●

他【水道料金、工事負担金等】
1億9,946.5 万円 (76 %)



○ 流域関連公共下水道事業

7億2,378.8 万円

(担当: 生活環境 課 下水道 係)

釜無川流域の三珠・市川大門地区の公共下水道に関する事業です。町民が安心して快適に暮らせるまちづくりのため、計画的に下水道施設の整備を進めています。

主な経費

下水道管渠布設工事費	7,967 万円
町道舗装本復旧工事費	2,700 万円
下水道管渠布設・舗装本復旧工事等設計委託料	2,600 万円
釜無川流域下水道施設建設及び維持管理負担金	8,782.1 万円
下水道工事に伴う水道管移設補償費	3,932.3 万円
下水道整備のための借入金及び利子の償還金	4億1,794 万円
その他の経費	4,603.4 万円

● 財源内訳 ●

国 5,250.1 万円 (7 %)
町 3億5,416.4 万円 (49 %)
町債 1億9,940 万円 (28 %)
他【使用料等】
1億1,772.3 万円 (16 %)

○ 特定環境保全公共下水道事業

2億4,738.5 万円

(担当: 生活環境 課 下水道 係)

六郷地区の公共下水道に関する事業です。町民が安心して快適に暮らせるまちづくりのため、整備された下水施設の運営・管理を行います。

主な経費

下水道管渠布設工事	300 万円
管渠維持管理費	1,180.3 万円
処理場維持管理費	3,129.9 万円
下水道整備のための借入金及び利子の償還金	1億9,331.1 万円
その他の経費	797.2 万円

● 財源内訳 ●

町 1億6,640.1 万円 (67 %)
町債 5,100 万円 (21 %)
他【使用料等】
2,998.4 万円 (12 %)

● ● ● 上下水道の整備・充実 ● ● ●

○ 戸別浄化槽整備推進事業

605.9 万円

(担当: 生活環境 課 下水道 係)

公共下水道及び農業集落排水事業の認可区域以外の地域を対象に、町が合併浄化槽を設置し維持管理を行います。

主な経費

合併処理浄化槽維持管理費	376.7 万円
施設整備のための借入金及び利子の償還金	229.2 万円

● 財源内訳 ●

町	262.1 万円 (43 %)
他 【 使用料等 】	343.8 万円 (57 %)

○ 農業集落排水事業

3,440.7 万円

(担当: 生活環境 課 下水道 係)

農業集落3地区(藤田、下芦川、高萩・垓・中山)に整備された農業集落排水施設の管渠及び処理場の維持管理を行います。

主な経費

管渠維持管理費	156.5 万円
処理場維持管理費	364.7 万円
施設整備のための借入金及び利子の償還金	2,914.5 万円
その他の経費	5 万円

● 財源内訳 ●

町	1,815 万円 (53 %)
町債	1,500 万円 (43 %)
他 【 使用料等 】	125.7 万円 (4 %)

○ 簡易水道事業

2億8,038 万円

(担当: 生活環境 課 簡易水道 係)

簡易水道とは、101人以上5,000人以下を給水人口とする水道のことです。

市川三郷町には、三珠地区に第一簡易水道、第二簡易水道、下芦川簡易水道、市川地区に山保簡易水道、八之尻・入簡易水道、六郷地区に中央簡易水道、網倉・五八簡易水道、岩下簡易水道の計8カ所の簡易水道があります。

町民のみなさまの安全な飲料水を提供するために、定期的な水質検査による監視と水道施設の維持管理を行うとともに、老朽化した水道施設を改良し、施設の充実を図ります。

主な経費

施設維持管理費等	6,734 万円
施設改良費	1億11 万円
公債費	1億1,293 万円

● 財源内訳 ●

国	2,486 万円 (9 %)
町	1億8,742 万円 (67 %)
他 【 水道・過疎対策事業債 】	6,810 万円 (24 %)

● ● ● 防災体制の充実 ● ● ●

○ 優良建築物整備事業

939 万円

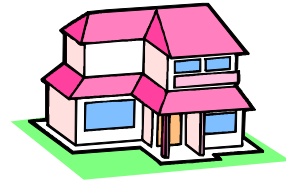
(担当: 建設 課 都市計画 係)

いつ起きてもおかしくない大規模地震に備え、個人住宅の耐震診断・改修を推進します。

また、民間建築物のアスベスト含有調査及び、除去等工事を推進し、安心して暮らせるまちをめざします。

● 財源内訳 ●

国	365.4 万円 (39 %)
県	334.5 万円 (36 %)
町	239.1 万円 (25 %)



主な経費

木造住宅耐震診断委託料	90 万円
木造住宅耐震改修補助金	424 万円
民間建築物アスベスト含有調査・除去等改修補助金	425 万円

○ 消防団の維持強化

8,314.7 万円

(担当: 総務 課 防災防犯 係)

消防団は、地域住民の安全・安心を確保するために欠かせない組織です。地域防災力向上のため消防団の活動環境を整備し、消防団の充実強化を図ります。

主な経費

消防団員活動費、団員報酬、他	3,074.5 万円
消防車両更新、維持管理費	3,532 万円
消防施設整備、維持管理費	1,708.2 万円

● 財源内訳 ●

町	3,654.7 万円 (45 %)
他 【 過疎対策事業債・コミュニティ助成 】	4,660 万円 (55 %)



女性消防隊設置

384.8 万円

(担当: 総務 課 防災防犯 係)

地域住民の安全・安心を確保するために欠かせない組織である消防団のさらなる充実強化を図るために、市川三郷町消防団の一員として、新たに女性消防隊を設置します。

今まで、男性消防団員だけでは行き届かなかった部分を、女性本来のきめ細やかな心遣いで対応し住民が安心して暮らせるまちづくりを目指します。

主な活動として、火災予防の広報活動、啓発活動を行います。

なお、平成23年度においては、女性消防団員による小型ポンプ操法の全国大会に、本消防隊が山梨県代表として出場します。

● 財源内訳 ●

町	284.8 万円 (74 %)
他 【 コミュニティ助成金 】	100 万円 (26 %)



市川三郷町女性消防隊

主な経費

女性消防隊員活動費、隊員報酬	320.7 万円
備品購入(機械器具費)	64.1 万円

● ● ● 防災体制の充実 ● ● ●

新 地域防災計画の見直し (担当: 総務 課 防災防犯 係) 280.4 万円

「市川三郷町地域防災計画」は、災害対策基本法に基づき、本町の防災に関する基本的事項を総合的に定め、住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とし、また、町、県及び防災関係機関の相互の密接な連絡調整を図るために必要な事項を示すため、市川三郷町防災会議において策定します。

なお、地域防災計画は、必要に応じ修正することとされており、平成18年度に策定された現行の計画に修正の必要が生じたため、見直しを行うものです。

今回の見直しにおいては、今まで課題となっていた、大雨による災害に対応するための「避難勧告等の発令基準」の策定を行い、計画に盛り込むこととしています。

● 財源内訳 ●		
町	280.4 万円 (	100 %)

主な経費	
修正業務委託料	280.4 万円



○ 消防防災施設の整備充実、自主防災組織資機材整備事業 6,496.1 万円

(担当: 総務 課 防災防犯 係)

耐震性貯水槽や防災備蓄倉庫などの消防防災施設の充実強化を進めていきます。
自主防災組織が整備する防災機材の購入経費の3分の1(10万円を限度)を補助します。

主な経費	
耐震性貯水槽・消火栓維持改修費	4,027.5 万円
防災備蓄倉庫整備、備蓄資材購入費	2,418.6 万円
自主防災組織資機材整備費補助	50 万円

● 財源内訳 ●		
国	1,926.9 万円 (	30 %)
県	820.6 万円 (	13 %)
町	798.6 万円 (	12 %)
他	過疎対策事業債 合併特例事業債、宝くじ助成	
	2,950 万円 (	45 %)

○ 防災行政用無線システム維持運用 760.8 万円

(担当: 総務 課 防災防犯 係)

防災無線は、災害時には被害情報や避難誘導情報などを的確に素早く伝達できるシステムとして、また平常時には一般行政広報システムとして、町民の安全と安心を守るため維持運用していきます。

主な経費	
防災行政用無線システム維持運用費	724.8 万円
情報収集用衛星電話維持費	36 万円

● 財源内訳 ●		
町	760.8 万円 (	100 %)

● ● ● 交通安全・防犯対策の推進 ● ● ●

○ 交通安全対策の推進

301 万円

(担当: 総務 課 防災防犯 係)

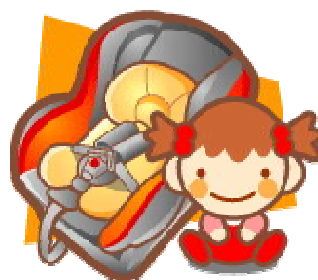
交通事故防止のための環境整備や、意識啓発・啓蒙対策に積極的に取り組んでいきます。チャイルドシートのレンタルや、購入費補助によりチャイルドシートの着用の促進を図ります。

● 財源内訳 ●

町	285.2 万円 (95 %)
他【交通災害共済事務手数料】	15.8 万円 (5 %)

主な経費

交通安全対策事業費	224.5 万円
チャイルドシート貸与(レンタル)事業費	31.5 万円
チャイルドシート購入費補助事業費	45 万円



○ 安全・安心対策の推進

1,336.5 万円

(担当: 総務 課 防災防犯 係)

青色防犯パトロールカーで町内をパトロールし児童・生徒を対象とした事件事故の抑止に努めます。また、夜間の犯罪や事故防止のため、防犯灯や街灯の新設、維持管理に努めます。

● 財源内訳 ●

町	1,336.5 万円 (100 %)
---	----------------------

主な経費

青色防犯パトロールカー運行費	415.2 万円
防犯灯、街灯設置、維持管理費	846 万円
安全・安心対策事業費	75.3 万円



青色防犯パトロールカー

● ● ● 定住化の推進 ● ● ●

○ 空き家情報登録制度「空き家バンク」事業

(担当: 企画 課 企画政策 係)

町への定住促進、空き家の有効活用などを目的に、売却・貸付を希望する所有者等から登録された町内の空き家を、町が利用希望者に情報を提供し、町への定住者等を増加させていくシステムです。



呼ぼうプロジェクトPR事業

23.1 万円

(担当: 企画 課 企画政策 係)

町の魅力を町内外に広くPRするため、神明の花火大会等イベント時に配布するPRグッズ(うちわ)を作成し、定住人口や交流人口の拡大を図る活動を行います。

● 財源内訳 ●

町 23.1 万円 (100 %)

主な経費

PRグッズ(うちわ)作成 23.1 万円



住宅リフォーム事業

300 万円

(担当: 建設 課 都市計画 係)

住宅をリフォームする方に対し、安心して住み続けられる住まいづくりと住居環境の向上や地域経済の活性化を図るために費用の一部を助成します。

● 財源内訳 ●

町 300 万円 (100 %)

主な経費

補助金 300 万円

○ 町営・町有住宅維持管理事業

1,531.9 万円

(担当: 建設 課 町営住宅 係)

町営・町有住宅の入退居の事務手続きや施設の修繕など、快適で住みやすくするための維持・管理を行います。

平成23年4月1日現在、町営・町有住宅管理戸数は、川浦団地12戸・桃林橋団地7戸・富士見団地132戸・落居団地16戸・宮原団地20戸・岩間団地33戸・町有住宅市川団地80戸の計300戸です。

● 財源内訳 ●

他 [住宅使用料]
1,531.9 万円 (100 %)

主な経費

町営・町有住宅維持修繕費	411.4 万円
町営・町有住宅受水槽清掃委託料(5カ所)	49.8 万円
町営住宅昇降機点検	146.4 万円
町有住宅排水管清掃委託料	93.2 万円
町営住宅富士見16号棟町有住宅階段手摺設置工事	175.9 万円
町有住宅ネットフェンス設置工事費	259.6 万円
その他経費	395.6 万円



町営富士見住宅『2.3.4号棟』

● ● ● 情報化の推進 ● ● ●

○ デジタル放送移行支援助成金

20 万円

(担当: 企画 課 情報化推進 係)

国の移行支援対象ではない、当該年度の町民税が課税されているひとり親家庭医療費助成世帯に対し、地上デジタル放送移行に係る費用の一部を助成します。(最高5,000円)

● 財源内訳 ●

町 20 万円 (100 %)



主な経費

デジタル放送移行支援助成金

20 万円

○ 行政情報ネットワークシステムの運用

4,531.7 万円

(担当: 企画 課 情報化推進 係)

迅速なサービス実現のため、多くの業務をコンピュータによるシステム化へと推進しています。処理時間の短縮は、住民サービスの待ち時間短縮や人件費等の経費節減にもつながります。

● 財源内訳 ●

町 4,531.7 万円 (100 %)



主な経費

機器リース、保守料金等
システム運用負担金

3,526.8 万円

1,004.9 万円

○ ネットワークシステム更新

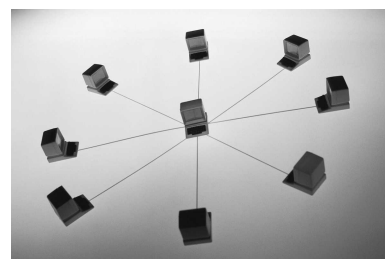
1,149.3 万円

(担当: 企画 課 情報化推進 係)

合併時に統合したネットワークシステムは、旧町で使用していた機器を含め再構築し稼働しています。旧町時の機器は故障も頻繁となっているため、計画に基づき更新を行っていく必要があります。

● 財源内訳 ●

町 1,149.3 万円 (100 %)



主な経費

ネットワークシステム機器更新、設計施工監理 1,149.3 万円

● ● ● 情報化の推進 ● ● ●

○ 総合行政ネットワーク

111.3 万円

(担当: 企画 課 情報化推進 係)

国や全国の自治体を結び、行政事務の効率化を図る「総合行政ネットワーク(LGWAN)」の運用を行います。また証明書等の交付申請が自宅等のパソコンからできる『電子申請』を推進します。

主な経費

システム運用等負担金 111.3 万円

● 財源内訳 ●

町 111.3 万円 (100 %)

○ 町HPサーバ及びCMS保守作業委託料

72.9 万円

(担当: 総務 課 広聴広報 係)

平成21年度にリニューアルした、町HPのサーバとその基幹であるCMSソフトの年間保守の作業委託です。安全な情報の発信はもとより、より見やすいHPの構築のため、専門業者と共に保守管理に努めます。

主な経費

ホームページサーバ及びCMS保守料等 72.9 万円

● 財源内訳 ●

町 72.9 万円 (100 %)

● ● ● 男女共同参画の推進 ● ● ●

○ 男女共同参画推進事業

45.4 万円

(担当: 企画 課 企画政策 係)

男女がお互いに尊重し合える男女共同参画社会実現に向けて、意識改革や啓発活動等、各種事業を展開して輝かしい未来創造のため男女共同参画プランを推進します。

● 財源内訳 ●

町 45.4 万円 (100 %)

主な経費

推進活動費 23.9 万円
プラン冊子印刷代 17.4 万円
委員報酬 4.1 万円



● ● ● 行財政改革の推進 ● ● ●

○ 課税、納税の事務

3,668.5 万円

(担当: 税務 課)

町税は、町民の皆さんが安心して安全な生活を送るために公平に負担しなければならない共通の経費です。

町民税や固定資産税・軽自動車税の課税根拠（収入、資産の評価など）の調査や納税通知書の発行、そのほか税金を納めていただくために必要な事務を行います。

平成21年度に町民の皆さんに納めていただいた町税総額は18億5,661万9千円余りです。

町税は、各税目の納税通知書に記載してある納期内に納めてください。納期限を過ぎますと督促手数料や延滞金がかかりますので、ご注意ください。

● 財源内訳 ●

町 3,668.5 万円 (100 %)

主な経費

納税通知書作成費	100 万円
資産評価等経費	2,304.2 万円
その他事務費	1,264.3 万円



本庁舎税務課窓口



法人町民税管理システム導入事業

450.3 万円

(担当: 税務 課)

法人町民税の納税義務者等の情報を電子化し、賦課徴収事務の向上を図るためのシステムを導入します。

● 財源内訳 ●

町 450.3 万円 (100 %)

主な経費

法人町民税管理システム導入委託料	426.6 万円
年間保守委託料	23.7 万円



● ● ● 行財政改革の推進 ● ● ●

○ 広域行政組合運営事業

3億925.3 万円

(担当: 企画 課 企画政策 係)

単町で運営するのではなく、峡南5町が峡南広域行政組合に負担金を出し合って運営する事業があります。これらは消防署や計算センター等の運営に使われ暮らしやすい町をつくれます。

● 財源内訳 ●

町 3億925.3 万円 (100 %)

主な経費

議会・総務費負担金	1,427.2 万円
計算センター費負担金	4,077.6 万円
民生費負担金	840.0 万円
消防費負担金	2億2,804.6 万円
計算センター町村電算システム負担金	1,775.9 万円



消防署を見学する保育園児

○ 指定統計調査事業

102.9 万円

(担当: 企画 課 企画政策 係)

国の進む方向を見いだすための基礎資料を得るために、各種基本調査（学校基本調査、経済センサス活動調査）が全国で実施されます。町民の皆様のご協力をお願いします。

● 財源内訳 ●

県 101.6 万円 (99 %)
町 1.3 万円 (1 %)

主な経費

学校基本調査	2.3 万円
経済センサス活動調査	100 万円
経済センサス管理・修正	0.6 万円



楽しむまち

1 人々が行き交い賑わいを生むまちづくり

道路網の整備

公共交通機関の整備

2 魅力と創造性発揮による活気あふれるまちづくり

農林業の振興

商工業の振興

観光の振興

3 町民と行政とによる心豊かなまちづくり

住民参画と協働の推進

4 恵まれた自然環境と共生するまちづくり

土地利用の推進

景観の保全と活用

● ● ● 道路網の整備 ● ● ●

○ 町道宮原一本松広場線整備事業

5,394 万円

(担当: 建設 課 公共土木 係)

六郷地区の宮原より中部横断自動車道の六郷 I C (仮称) を結び、片側に 2 m の歩道を設置した幅員 8.75 m の道路を整備します。

主な経費

用地費	1,700 万円	工事費	3,000 万円
補償費	390 万円	委託費	304 万円

● 財源内訳 ●

国	1,800 万円 (33 %)
他 【 過疎対策事業 】	3,594 万円 (67 %)

○ 町道の新設整備事業

3,300 万円

(担当: 建設 課 公共土木 係)

町道の新設・改良、整備を行います。主な路線は、(仮称)平塩 5 号線・網倉日向線・細久保割石線です。

主な経費

委託料	66 万円
工事費	2,650 万円
用地・補償費	584 万円

● 財源内訳 ●

他 【 過疎対策事業債・財産収入 】	3,300 万円 (100 %)
--------------------	--------------------

● ● ● 公共交通機関の整備 ● ● ●

○ コミュニティバス運行事業

1,903.8 万円

(担当: 総務 課 防災防犯 係)

交通弱者の皆様の町内主要公共施設利用の向上を目的に、次の 3 つの路線でバスを運行します。

- 【六郷線】つむぎの湯～鯉沢口駅
- 【六郷循環線】六郷地区内を循環
- 【山保線】四尾連湖～市川三郷町立病院

● 財源内訳 ●

県	33 万円 (1.7 %)
町	1,866.5 万円 (98 %)
他 【 コミュニティバス使用料 】	4.3 万円 (0.3 %)

主な経費

コミュニティバス運行事業費	1,903.8 万円
---------------	------------



● ● ● 農林業の振興 ● ● ●

★ 新 農地貸借意向情報調査事業 76.8 万円

(担当: 産業振興 課 農業委員会 係)

農地利用等の意向を把握し農地の有効利用をするため意向調査を実施し、農地の斡旋、担い手確保、耕作放棄地情報の利活用の促進を図る補助事業です。

● 財源内訳 ●			
県	76.8 万円	(	100 %)



主な経費	
農地貸借意向情報調査費	76.8 万円

○ 農地制度実施円滑化事業 105 万円

(担当: 産業振興 課 農業委員会 係)

農地法等の一部改正により農業委員会が行う新たな事務が創設され、新たに担う事務を円滑に執行できるよう必要な支援を行う補助事業です。

主な経費	
農地利用状況調査費	21 万円
農地基本台帳・農地有効利用保全整備費	84 万円

● 財源内訳 ●			
県	100 万円	(	95 %)
町	5 万円	(	5 %)

○ 農業委員会交付金等事業 419 万円

(担当: 産業振興 課 農業委員会 係)

農業委員会は、農業全般にわたる問題を、農業者の創意と自主的な協力によって総合的に解決していくための農業者の代表機関として設置した行政委員会です。

主な経費	
農業委員会委員報酬	401 万円
農地調査、農地調整事務処理費	18 万円

● 財源内訳 ●			
県	140 万円	(	33 %)
町	279 万円	(	67 %)

● ● ● 農林業の振興 ● ● ●

○ 農業者戸別所得補償制度推進事業

129.8 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

農業者戸別所得補償制度の実施に必要な、農業者情報のシステム入力や直接支払等に要する経費、及び生産数量目標の設定、作付面積の確認、農地集積の調整等を行う必要な経費を地域水田農業推進協議会に対して助成します。

- ・農業者別の生産数量目標の設定ルールを検討。
- ・交付申請書、営農計画書等の申請書類の配布・回収に要する経費
- ・農業者ごとの米の生産数量目標の達成状況、対象作物の作付面積等の確認、システム入力等に要する経費
- ・農業者戸別所得補償制度の普及・推進に要する経費

主な経費

市川三郷町地域水田農業推進協議会補助金 129.8 万円

● 財源内訳 ●

県 129.8 万円 (100 %)

○ 中山間地域等直接支払制度推進事業

161.4 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

中山間地域の農業生産を維持して多面的機能を確保していくため、集落協定書を結び5年以上継続して農業生産活動を行う農業者に対して交付金を交付します。

- ・事業期間・・・平成22年度から平成31年度

主な経費

認定集落協定直接支払交付金 112.4 万円
 公用車賃借料 31.2 万円
 事務費 17.8 万円

● 財源内訳 ●

県 98.9 万円 (61 %)
 町 62.5 万円 (39 %)

○ 農地・水・環境保全向上対策事業

112 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

農業施設を長持ちさせるようなきめ細やかな手入れや農村の自然や景観などを守る地域共同活動を支援する事業です。

地域共同活動への支援とは主に、農地、水等を守り、質を高めることを目的としています。

● 財源内訳 ●

県 4 万円 (4 %)
 町 108 万円 (96 %)

主な経費

山梨農地・水・環境保全協議会交付金 108 万円
 事務費 4 万円



● ● ● 農林業の振興 ● ● ●

○ 緊急農業施設災害復旧支援対策資金利子補給事業

5 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

平成10年1月の大雪によりブドウ棚や農業施設等が被害を受け、それを復旧するために、融資を受けた農家に対して、利子を補助します。

主な経費

利子の補助

5 万円

● 財源内訳 ●

県	2.4 万円 (	48 %)
町	2.6 万円 (	52 %)

○ 鳥獣害防除事業

60 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

農林作物を有害鳥獣から守るため、有害鳥獣防除施設を設置した農林業者に対し、資機材費の1/2を補助します。

主な経費

有害鳥獣防除資機材補助金

60 万円

● 財源内訳 ●

町	60 万円 (	100 %)
---	---------	---------

○ 有害鳥獣の捕獲

75 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

農林作物の被害防止のため、市川三郷町の各猟友会に対し、銃や檻による捕獲を委託します。

主な経費

有害鳥獣捕獲出動報償費

75 万円

● 財源内訳 ●

町	75 万円 (	100 %)
---	---------	---------

○ 森林整備地域活動支援推進事業

16.2 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

森林の持つ多面的機能の発揮をはかるため、森林施行計画の認定を受け、森林施業を実施する森林所有者に対して支援します。

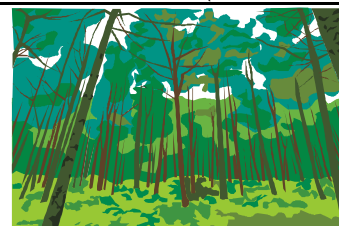
● 財源内訳 ●

県	12.1 万円 (	75 %)
町	4.1 万円 (	25 %)

主な経費

森林整備地域活動支援交付金

16.2 万円



● ● ● 農林業の振興 ● ● ●

○ 松くい虫防除事業

11.8 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

松くい虫の蔓延を防ぐため、松くい虫によって枯れた松を伐倒くん蒸処理します。

主な経費

松くい虫被害木伐倒くん蒸処理委託料	10.5 万円
事務費	1.3 万円

● 財源内訳 ●

県	8.2 万円 (69 %)
町	3.6 万円 (31 %)

○ 町有林分収造林事業

84 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

森林農地整備センターとの分収契約に基づき町有林（上原山第2・日向山・鴨狩津向）の下刈等を実施します。森林の所有者が土地を提供し、造林者がこれを造成し、かかる費用を森林農地整備センターが負担します。

主な経費

分収造林下刈等委託料	84 万円
------------	-------

● 財源内訳 ●

他【森林農地整備センター】	84 万円 (100 %)
---------------	-----------------

○ 特定鳥獣保護管理事業

117.5 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

鳥獣の保護・捕獲を行い、適正に管理し鳥獣による被害対策等の効果的な実施を図ります。

各猟友会に保護・捕獲を委託します。

【対象獣】ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル

主な経費

特定鳥獣捕獲実績報償費	117.5 万円
-------------	----------

● 財源内訳 ●

県	58.7 万円 (50 %)
町	58.8 万円 (50 %)

○ 千本桜植栽下刈事業

11.8 万円

(担当: 産業振興 課 農林 係)

町道高田上原線（通称金川曾根広域農道）沿いに植えられた桜の下刈りなどを行います。

桜の植林地は農道沿いの私有地を借り上げています。

主な経費

下刈等委託料	9.1 万円
土地借上料	2.7 万円

● 財源内訳 ●

町	11.8 万円 (100 %)
---	-------------------

● ● ● 農林業の振興 ● ● ●

○ 農業用施設等維持管理費

4,460.2 万円

(担当: 産業振興 課 農林整備 係)

農道及び農業用水路等の農業用施設に係る維持管理、町内各地区揚排水機場等の保守管理業務委託料及び修繕費、農業用施設に係る電気代・修繕費・工事費・工事材料費、その他集落排水事業への繰出金等が主なものです。

主な経費

農業用施設等維持管理等	882.8 万円
排水機場保守点検・除雪費等	1,262.5 万円
工事費・集排繰出金等	2,314.9 万円

● 財源内訳 ●

県	325.2 万円 (7 %)
町	3,889.4 万円 (87 %)
他【町債・委託金・補助金等】	245.6 万円 (6 %)

○ 中山間地域総合整備事業等負担金

5,589.7 万円

(担当: 産業振興 課 農林整備 係)

中山間地域総合整備事業（三珠地区・市川大門地区）及び農道保全事業（金川曾根広域農道）等に係る県営事業負担金、また、中山間地域総合整備事業にて町内5箇所で行われている圃場整備に係る業務委託料等です。

主な経費

中山間地域総合整備事業等負担金	4,275 万円
圃場整備関係業務委託料等	1,068.1 万円
その他負担金等	246.6 万円

● 財源内訳 ●

県	1,068.1 万円 (19 %)
町	701.6 万円 (13 %)
他【合併特例事業債】	3,820 万円 (68 %)

○ 林業施設等維持管理費

103.7 万円

(担当: 産業振興 課 農林整備 係)

町内5カ所の林道（千波滝畑熊線、下芦川線、桜峠線、折八古関線、山保線）及び林業関係施設の維持管理を行うための予算です。

主な経費

林道施設等維持管理費	97.8 万円
生活林道除雪委託料	5.9 万円

● 財源内訳 ●

町	103.7 万円 (100 %)
---	--------------------

● ● ● 商工業の振興 ● ● ●

○ 地場産業会館管理

117.2 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

地場産業会館(印章資料館)は、商工会六郷支所と併設しています。管理運営業務について市川三郷町商工会を指定管理者として、協定を締結しています。

● 財源内訳 ●

町 117.2 万円 (100 %)



地場産業会館

主な経費

年間指定管理委託料	93.8 万円
年間機械警備委託料	23.4 万円

○ 市川三郷町商工会運営費等補助金

1,310.3 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

市川三郷町商工会は、地域社会の総合経済団体として、経営改善普及事業や地域振興事業など幅広い活動を通じ、地域商工業の振興に大きな役割を果たしています。

主な経費

商工会運営費等補助金	1,060.3 万円
プレミアム付き商品券発行事業助成金	250 万円

● 財源内訳 ●

県	140.1 万円 (11 %)
町	1,170.2 万円 (89 %)

○ 製紙試験場管理運営費

212 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

製紙試験場は、町の地場産業の一つである和紙の品質検査等を専門的に行っています。

主な経費

製紙試験場管理運営費	212 万円
------------	--------

● 財源内訳 ●

町	207 万円 (97.6 %)
他【 使用料・手数料	5 万円 (2.4 %)

○ 消費行政活性化基金事業

119.5 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

消費生活相談スタートアップ、消費者教育・啓発活性化、消費者行政活性化オリジナル事業等を活性化の基金事業として実施します。

主な経費

消費生活相談スタートアップ事業	2.8 万円
消費者教育・啓発活性化事業	115.1 万円
消費者行政活性化オリジナル事業	1.6 万円

● 財源内訳 ●

県	119.4 万円 (99.9 %)
町	0.1 万円 (0.1 %)

● ● ● 観光の振興 ● ● ●

○ 登山道等整備事業

795.9 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

大門碑林公園登山口から四尾連湖や蛾ヶ岳への登山道、みたまの湯から桜峠を経由し、山の先生碑や芦川への遊歩道などの登山道等を整備する事業です。

主な経費

(緊急雇用)登山道等整備事業

795.9 万円

● 財源内訳 ●

県 795.9 万円 (100 %)

○ 花火公園管理業務事業

518.6 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

花火公園の花火資料館等の年間運営管理を『神明の花火倶楽部』に業務委託し、花火PRの拠点施設として活性化を図っています。

主な経費

花火公園管理業務委託料

66 万円

(ふるさと雇用)花火資料館PR強化事業

452.6 万円

● 財源内訳 ●

県 452.6 万円 (87 %)

町 66 万円 (13 %)

○ 「第23回神明の花火大会」町花火打上げ委託料

300 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

8月7日の神明の花火大会に、町花火として打ち上げる花火の委託料です。

● 財源内訳 ●

町 300 万円 (100 %)



主な経費

神明の花火大会町花火委託料

300 万円

○ 静岡県西伊豆町交流事業

27 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

静岡県西伊豆町と毎年友好町としての交流事業を実施しています。民宿に宿泊した場合の助成金事業や相互交流等を実施しています。

主な経費

西伊豆交流助成金

25 万円

西伊豆ふるさと祭り参加交流

2 万円

● 財源内訳 ●

町 27 万円 (100 %)

● ● ● 観光の振興 ● ● ●

○ 歌舞伎鑑賞助成事業

38 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

本町は、江戸歌舞伎の最高峰市川團十郎宗家発祥の地です。日本の伝統文化である歌舞伎に親しみ、また町のPRのために歌舞伎鑑賞助成事業を実施しています。

主な経費

歌舞伎鑑賞助成金	30 万円
バス運転委託等交通費	8 万円

● 財源内訳 ●

町	38 万円 (100 %)
---	-----------------

○ 大塚地区のっぴい地域活性化事業

228.9 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

大塚地区のっぴい地域の活性化を図るため、みたまの湯周辺の「のっぴい農地」を活用した特産農産物の農作業体験等の企画・運営や、健康増進施設「みたまの湯」での入浴方法、食事メニュー、周辺ウォーキング等健康増進事業、それに地場産業の印章・和紙等の体験メニューの企画・運営等、集客事業振興への取り組みをする事業です。

主な経費

(ふるさと雇用)大塚地区のっぴい地域活性化事業	228.9 万円
-------------------------	----------

● 財源内訳 ●

県	228.9 万円 (100 %)
---	--------------------

○ 大門碑林公園管理運営

476.1 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

大門碑林公園の管理運営を民間の専門事業者へ委託し、PRを図っています。

主な経費

公園管理費	412.1 万円
事業運営費	64 万円

● 財源内訳 ●

町	210.8 万円 (44 %)
他【入園料・使用料・物品売上・雑入】	265.3 万円 (56 %)

○ 文化と武道の館管理

409.7 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

文化と武道の館(ひらしお源氏の館)は、書道・絵画・写真展等をはじめとする文化展等に利用される木造の建物です。

主な経費

管理費	409.7 万円
-----	----------

● 財源内訳 ●

町	409.7 万円 (100 %)
---	--------------------

● ● ● 観光の振興 ● ● ●

○ 温泉事業

5,952.8 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

年間26万人もの県内外からの来客がある『みたまの湯』の施設・源泉・送湯・温泉スタンド等の維持管理と起債償還です。一般会計歳入へ目的税の入湯税を3,366万円余り見込んでいます。

● 財源内訳 ●

町	4,150.1 万円 (70 %)
他	【 使用料・基金・繰越金・利子・納入金 】
	1,802.7 万円 (30 %)



みたまの湯露天風呂

主な経費

管理経費	103.3 万円
温泉ポンプクリーニング等	2,035 万円
起債償還	3,814.5 万円

○ 歌舞伎文化公園ふるさと会館等公園管理

2,971.9 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

歌舞伎文化公園ふるさと会館・ふれあい広場・いこいの森の維持管理費です。

主な経費

維持管理費	2,971.9 万円
-------	------------

● 財源内訳 ●

町	2,726.6 万円 (92 %)
他	【 観覧料・使用料・繰越金・雑入 】
	245.3 万円 (8 %)

○ 歌舞伎文化公園文化活動費

79.4 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

ふるさと会館多目的ホールを使用した文化公演や映画会等の文化活動です。

主な経費

親子映画鑑賞会	43.3 万円
なつかしの映画鑑賞会	9.9 万円
舞台技術委託	26.2 万円

● 財源内訳 ●

町	67.7 万円 (85 %)
他	【 観劇料 】
	11.7 万円 (15 %)

○ 歌舞伎文化公園文化資料館・ばたん園等管理

464.1 万円

(担当: 産業振興 課 商工観光 係)

文化資料館、民俗資料館、ばたん園の管理です。文化資料館内では、3Dで町PR映像が見られます。

主な経費

文化資料館・民俗資料館管理費	418.1 万円
ばたん園管理費	46 万円

● 財源内訳 ●

町	459.5 万円 (99 %)
他	【 基金利子・雑入 】
	4.6 万円 (1 %)

● ● ● 住民参画と協働の推進 ● ● ●

○ 「いちかわみさと 議会だより」の発行

126.5 万円

(担当: 議会事務局)

年4回の定例会(3・6・9・12月)の翌々月の1日に「いちかわみさと 議会だより」を発行し、定例会、臨時会の内容等をお知らせしています。議会広報モニターさんから寄せられるご意見等を基に、より分かり易い紙面作りに努めています。

主な経費

「議会だより」の印刷

123.9 万円

その他の経費

2.6 万円

● 財源内訳 ●

町 126.5 万円 (100 %)



山梨県議会議員一般選挙

873.8 万円

(担当: 総務 課 庶務 係)

平成23年4月執行の県議会議員選挙の費用です。

選挙は、私たちが政治に参加する重要な機会です。私たち一人ひとりが選挙の重要性を理解し、貴重な一票を投票しましょう。

投票日当日に、仕事や用事で投票所に行くことができない方には「期日前投票制度」があります。期日前投票は、告示日の翌日から投票日の前日まで投票できますのでご利用下さい。

主な経費

投票立会人や開票立会人などへの報酬

160.4 万円

投票・開票の事務費

682.6 万円

その他の経費

30.8 万円

● 財源内訳 ●

国 850 万円 (97 %)

町 23.8 万円 (3 %)

○ 広報「いちかわみさと」の発行

274.7 万円

(担当: 総務 課 広聴広報 係)

モノクロ印刷、完全データ入稿により、単価24.21円(昨年度実績)と県内他市町村と比較しても格段に安い価格での発行を実現しています。

・発行部数 6,500部 毎月1日発行

主な経費

広報紙の印刷

214.2 万円

その他の経費

46.6 万円

カメラ購入費

13.9 万円

● 財源内訳 ●

町 274.7 万円 (100 %)

● ● ● 住民参画と協働の推進 ● ● ●

○ 平成23年度「知ってほしい、まちの予算」の発行

5 万円

(担当: 総務 課 広聴広報 係)

町政へのご理解をより深めて頂くために、町の事業や財源内訳を詳しく紹介するこの冊子です。今年度も更なる経費削減を念頭に、職員の手作りにより作成、また町HPからも閲覧や印刷ができるように工夫しました。

主な経費

「知ってほしい、まちの予算」の発行(1,000部) 5 万円

● 財源内訳 ●

町 5 万円 (100 %)

○ 町民と町長のふれあい室

(担当: 総務 課 広聴広報 係)

皆様のご意見を直接お聞きし、今後の町政に反映させるよう「町民と町長のふれあい室」を毎月行っています。

原則として、三珠庁舎は第2火曜日・本庁舎は第2水曜日・六郷庁舎は第2木曜日のいずれも午前9時～正午まで。気軽にお越し下さい。



○ 町PR事業

508.1 万円

(担当: 総務 課 広聴広報 係)

「きらりと光るまち市川三郷」を広くPRするため、地域に根差してきた市川三郷レゾナンスのグッズなどを作成、また着ぐるみを使用した活動を実施するなど、更なる町のPR事業を展開します。

主な経費

着ぐるみ作成代	283.5 万円
PRグッズ作成代ほか	212 万円
着ぐるみクリーニング代	12.6 万円

● 財源内訳 ●

町 508.1 万円 (100 %)

○ 各種要望事項受付・取りまとめ及び管理事業

(担当: 政策推進室)

複合業務を要するなど、多様化する要望ニーズにきめ細やかに対応するため、その受付と対応の取りまとめ及び管理を、担当課を越えて統括的に行います。

● ● ● 住民参画と協働の推進 ● ● ●

○ 戸籍・住民基本台帳登録などに関する事務

599.7 万円

(担当: 町民 課 町民 係)

出生・婚姻など戸籍の届出に関することや、転入・転出など住民異動に関するもののほか、外国人登録事務、印鑑登録事務処理などを行います。

また、戸籍・住民票の謄・抄本、印鑑証明書、住民基本台帳カード、自動車臨時運行許可証などの発行、交付を行います。

主な経費

戸籍システム、住民基本台帳管理システム運用負担金	457.4 万円
印刷製本費他	91.8 万円
住民基本台帳カード発行手数料	13.8 万円
機械類借上料	36.7 万円

● 財源内訳 ●

国	70.5 万円 (11.7 %)
県	2.3 万円 (0.4 %)
町	526.9 万円 (87.9 %)

● ● ● 土地利用の推進 ● ● ●

○ 地籍調査事業

909 万円

(担当: 産業振興 課 地籍調査 係)

○ 本年度は

- ・大塚第5地区(大字大塚字西村、堀込、幅)の成果取りまとめ、及び法務局に送付する地図の作成
- ・大塚第6地区(大字大塚字東村)の現地測量を予定しています。

< 平成23年度地籍調査実施区域図 >



● 財源内訳 ●

国	454.5 万円 (50 %)
県	227.2 万円 (25 %)
町	227.3 万円 (25 %)

主な経費

大塚第5地区法務局送付用地図作成委託料	39.9 万円
大塚第6地区地籍調査委託料	840 万円
一筆地調査事務費	29.1 万円

● ● ● 景観の保全と活用 ● ● ●



景観計画策定

600 万円

(担当: 建設 課 都市計画 係)

本町の個性を活かした景観形成を目指すとともに、景観形成をより強力に推進していくため都市計画法、建築基準法、都市緑地法、屋外広告物法などの景観形成に係わる法律等の活用を図るために計画を策定します。

● 財源内訳 ●

県	200 万円 (	33 %)
町	400 万円 (	67 %)

主な経費

委託料 600 万円



上空から見た市川三郷町の景観

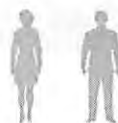
資 料 編

数字で見る市川三郷町

【人口】 H23.1.1 現在

人口数 **17,972** 人 15~64 歳 **10,071** 人
15 歳未満 **2,047** 人 65 歳以上 **5,569** 人

外国籍人口 **285** 人



【人口密度】 H23.1.1 現在

1 km² あたり
239 人 (町面積 75.07km²)



【出生数】 H21 年度

1 日に
0.22 人



【世帯人口】 H23.1.1 現在

1 世帯あたり
2.7 人



【平均年齢】 H23.1.1 現在

町民平均年齢
48.88 歳



【死亡数】 H21 年度

1 日に
0.59 人



【結婚件数】 H21 年度

1 日に
0.19 組



【離婚件数】 H21 年度

1 日に
0.04 組



【新築住宅件数】 H22 年度

1 日に
0.17 軒



【蔵書冊数】 H23.2.28 現在

町民 1 人あたり
4.6 冊 (全 82,514 冊)



【医師数】 H23.4.1 現在

町民 **946** 人
に 1 人



【教員数】 H22 年学校基本調査

小学生 **11.8** 人に 1 人
中学生 **8.9** 人に 1 人



【公園面積】 H21 年度

町民 1 人あたり
11.79 m²



【ごみ排出量】 H21 年度

町民 1 人あたり 1 日に
744g



【交通事故件数】 H22 年

1 日に **0.64** 件
(全件数 234 件)



【救急車出動件数】 H22 年

1 日に **1.63** 件
(全出動数 595 件)



【火災件数】 H22 年

1 日に **0.05** 件
(全件数 18 件)



【消防団員数】 H22.4.1 現在

町民 **44.16** 人に 1 人
(総団員数 407 人)



【町職員数】 H22.4.1 現在

町民 **106.98** 人に 1 人
(病院、老人保健施設、上下水道を除く職員数 168 人)

【町税】 H22 年度

町民 1 人あたり
103,306.2 円



【国保医療費】 H21 年度

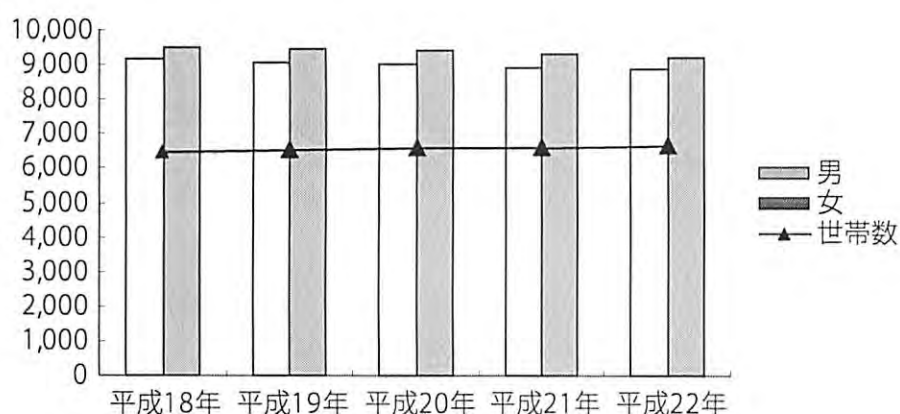
町民 1 人あたり 1 年に
298,235 円



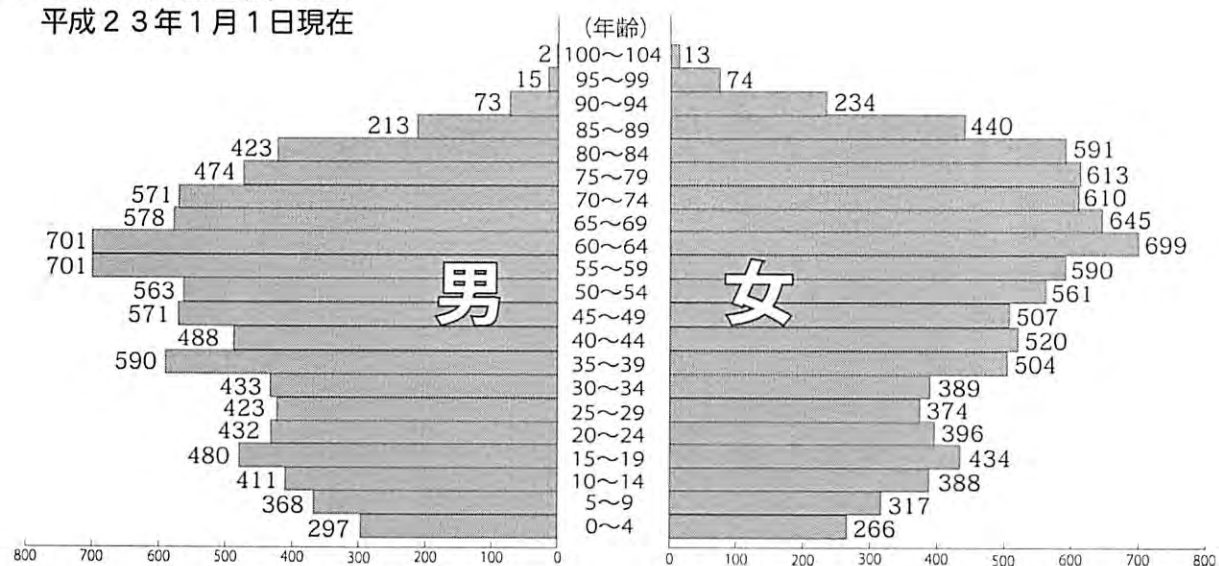
■人口・世帯数の推移

各年4月1日現在（単位：人）

		平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
人口	男	9,188	9,082	9,014	8,872	8,831
	女	9,521	9,438	9,391	9,258	9,198
	合計	18,709	18,520	18,405	18,130	18,029
世帯数		6,469	6,492	6,566	6,574	6,608



■年齢別（5歳階級）人口 平成 23 年 1 月 1 日現在





みなさんこんにちは！市川三郷レンジャーの『ぽんぽん』です。
この『知ってほしい、まちの予算』も、平成19年度から始まり今年
度で5回目の発行となりました。

町の予算がどのように作成され、またこれがどのように使われるかを分かりやすく知っ
てもらおうと作成しましたが、その間にみなさまから、言葉の意味、一般会計と特別会計
の違いなどを教えて欲しいとのご意見を頂きました。5年目の節目となる今回、もう一度
分かりやすく町の予算の概要をお知らせしたいと思います。

【予算！？ってな～に】

予算とは、町で1年間に掛かる収入と支出について、あらかじめ見積りをたてること、
またその内容のことを言います。今年度、町にはいくらの収入があるから、こんな買い物
をしよう、こんな事業をしようという計画が予算の中でされているのです。裏を返せ
ば予算の中で計画されていない事は、簡単にはできないということになります。

【3種類の予算】

町の予算には大きく分けて3つの種類があります。

一つは私たちの生活に最も関わりの深い「一般会計」です。「一般会計」は生活全般に関
わる施策を経理する会計です。

あと2つは「特別会計」と「公営企業会計」です。

これらは、特定の事業に限られた中で収入と支出が計算されます。町の「特別会計」に
は国民健康保険事業や公共下水道事業など15の特別会計があります。「公営企業会計」に
は上水道事業や病院事業が含まれます。

【特別会計・公営企業会計って？】

特別会計とは、国民健康保険や下水道などのように特定の収入や支出を一般会計と区別
して処理する事で、その事業の内容をより分かりやすくするために設けられた会計です。

公営企業会計とは、独立採算を原則とする企業的色彩の強い事業を行なう場合設置され
るもので、民間企業と同じ経理方式をとる会計です。町では上水道事業、病院事業がこれ
にあたります。

【予算の作り方】

では、町の予算はどのようにしてつくのでしょうか。

町ではまず各課ごとに必要額を計算していきます。

例えば…

- ・この事業をするには、幾らかかるか？
- ・そのためのお金を国や県からはもらえないか？
- ・町では幾ら負担すれば良いのか？

などを事業一つ一つについて計算していきます。それらをまとめ、町の予算編成を担当している財政課に要望します。

財政課では町長を含めて、提出された要望を詳しく調べていきます。

- ・この事業は本当に必要か？
- ・この買い物は今年必要か？
- ・別の方法がないか？

などを今年の収入と比べながら精査していきます。

この過程を経たのち予算案が決定し、議会に提出されます。議会で審議され認められると、はじめて予算案が予算として成立し、事業を行うことができるようになるのです。

【町の収入は大きく分けて2種類】

町に入ってくるお金には、どんな種類があるのでしょうか？これは大きく次の2種類に分けられます。

■自主財源 … 町民税や固定資産税などの町税や使用料など、町で自ら確保できる財源。

■依存財源 … 地方交付税や国、県からの支出金など、他からの財源に頼るもの。

この依存財源のうち大きな割合を占めるのは「地方交付税」です。

【地方交付税とは？】

地方交付税とは、正しくは交付金的一种で、自治体の格差解消を目的に交付されています。自治体ごとに経済規模や構造、人口などが違うため、各自治体で確保できる税金などは差が出てしまいます。そこで、全国どこに住んでも標準的な行政サービスを受けることができるように、国から自治体に交付されるのです。

ここまで、予算の流れや会計の種類について説明しましたが、次ページから、町の予算を家計簿に例えてもう少し分かりやすく説明します。

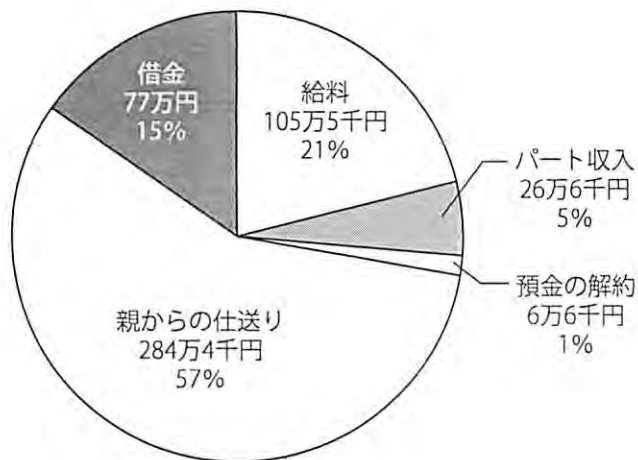


○町の予算を家計にたとえると？

町の予算は、専門的な言葉が多く使われるためわかりづらい点が多いと思います。そこで町の一般会計の予算を皆さんの家計に置き換えて表して見ました。ここでは、年間 80 億円を超える予算を年間 500 万円の収入と支出がある家庭にたとえてみます。

収入の部

■全収入 500 万



左の図から見てわかるとおり、町は自分の力で得ることのできる収入（給料＋パート収入）は 26% であり、3 割自治といわれる 30% をも下回り大変厳しい状況です。

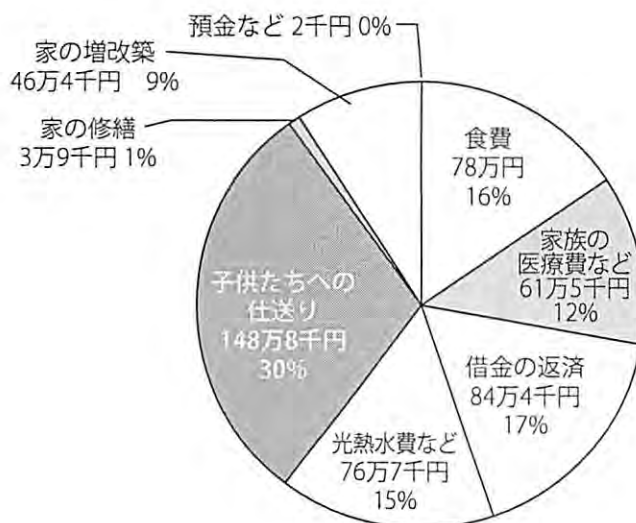
また、全収入のうち 57% を親の仕送り（国県の交付金）、13% を借金（町債）に頼っています。

■語句の説明

給料	町の税金
パート収入	負担金、使用料、手数料
預金の解約	町の基金の取崩し
親からの仕送り	国県からの交付金
借金	町債（町の借金）

支出の部

■全支出 500 万



食費や医療費など、どうしても必要な費用は、全体の 90% を占めています（食費から子供たちへの仕送り）。中でも子どもたちへの仕送りは、全体の 30% を占めています。このため、町の臨時的に使えるお金が少ないことになります。

現在、町では食費などをきりつめています。

■語句の説明

食費	町長、議員、職員などの人件費
家族の医療費など	福祉や医療にかかる費用
借金の返済	町が以前に借りたお金の返済
光熱水費など	施設などを維持管理する費用
子供たちへの仕送り	特別会計に繰り出す費用、一部事務組合や団体等への負担金や補助金など
預金など	毎年の積立金
家の修繕	施設などを補修費
家の増改築	道路、学校、住宅などの改築費

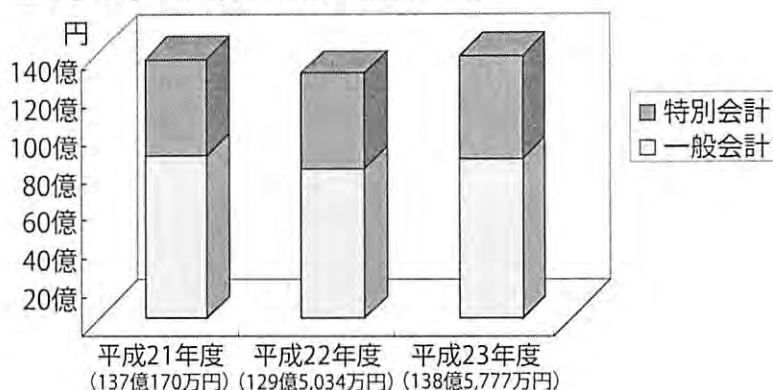
○町の予算額の移り変わり

平成 23 年度の当初予算額は、一般会計 83 億 9,804 万円、16 の特別会計 54 億 5,973 万円、合計 138 億 5,777 万円です。

一般会計は、平成 22 年度と比較すると 5 億 1,557 万円の増額で、6.54%増です。

これは、町道矢作上野線新設改良事業や三珠総合福祉センター耐震改修事業などによるものです。また、国民健康保険事業、介護保険事業、簡易水道事業及び下水道事業等の保険料、使用料で運営している事業は、わかりやすくするために一般会計とは別に特別会計を設けています。

■町の予算額の推移（全体額）



町の予算額の推移（会計別）

会 計 名	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
一般会計	85 億 9,528 万円	78 億 8,237 万円	83 億 9,804 万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	17 億 6,783 万円	18 億 5,436 万円	20 億 1,765 万円
国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）	9,767 万円	8,953 万円	8,951 万円
老人保健特別会計	105 万円	62 万円	0 万円
介護保険特別会計	16 億 9,621 万円	16 億 9,340 万円	17 億 3,529 万円
介護サービス事業特別会計	659 万円	450 万円	458 万円
訪問看護ステーション西八代特別会計	2,311 万円	2,367 万円	2,616 万円
簡易水道特別会計	2 億 73 万円	1 億 8,994 万円	2 億 8,038 万円
公共下水道事業特別会計	10 億 856 万円	8 億 9,759 万円	9 億 7,117 万円
農業集落排水事業特別会計	3,534 万円	3,536 万円	3,441 万円
戸別浄化槽整備推進事業特別会計	1,949 万円	633 万円	606 万円
温泉事業特別会計	4,038 万円	3,907 万円	5,953 万円
恩賜県有財産保護管理事業特別会計	178 万円	232 万円	234 万円
市川財産区特別会計	124 万円	150 万円	160 万円
高田財産区特別会計	85 万円	84 万円	82 万円
大同財産区特別会計	331 万円	327 万円	325 万円
歌舞伎文化公園管理特別会計	2,252 万円	3,459 万円	3,515 万円
後期高齢者医療特別会計	1 億 7,976 万円	1 億 9,108 万円	1 億 9,182 万円
合 計	137 億 170 万円	129 億 5,034 万円	138 億 5,777 万円

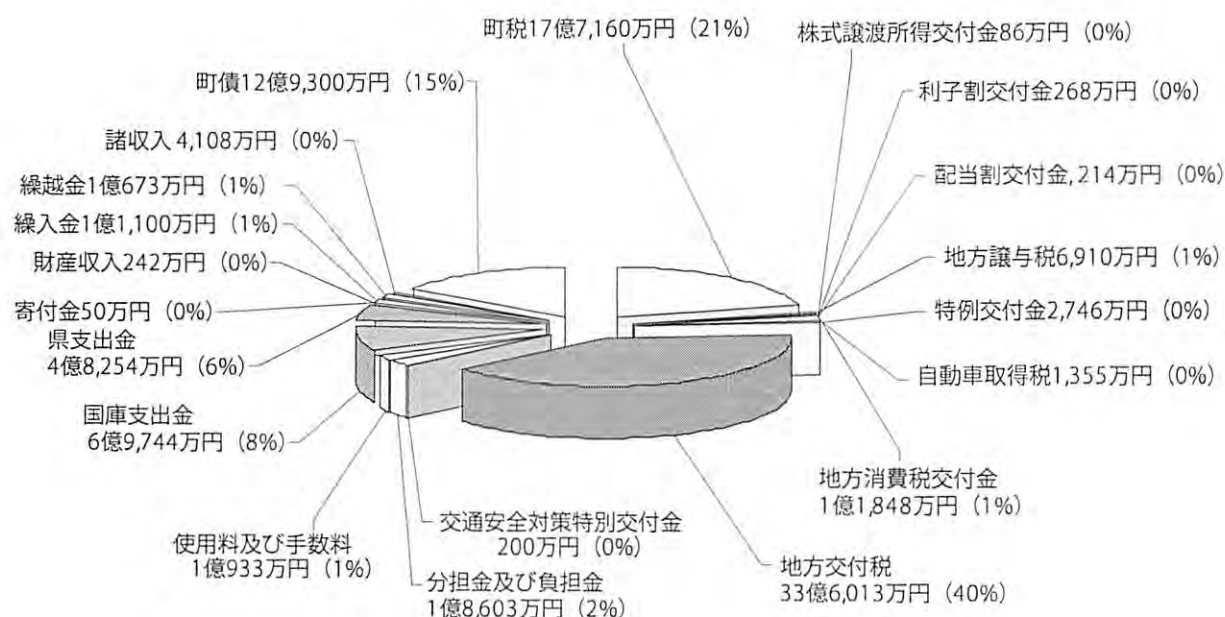
※ 1 万円未満は四捨五入しています

特別会計は特定の目的を持った会計なため、このあとの予算分析には含んでいません。次ページからは、一般会計についての説明となっています。

○町はどのようにして収入を得ているのでしょうか？

歳入とは、家計でいうと収入に当たります。内訳の交付金や支出金は、国や県から町に入る収入です。グラフを見てわかるとおり、地方交付税を筆頭に交付金や国・県支出金が大きな割合を占めています。

■当初予算の歳入内訳（総額 83 億 9,804 万円）



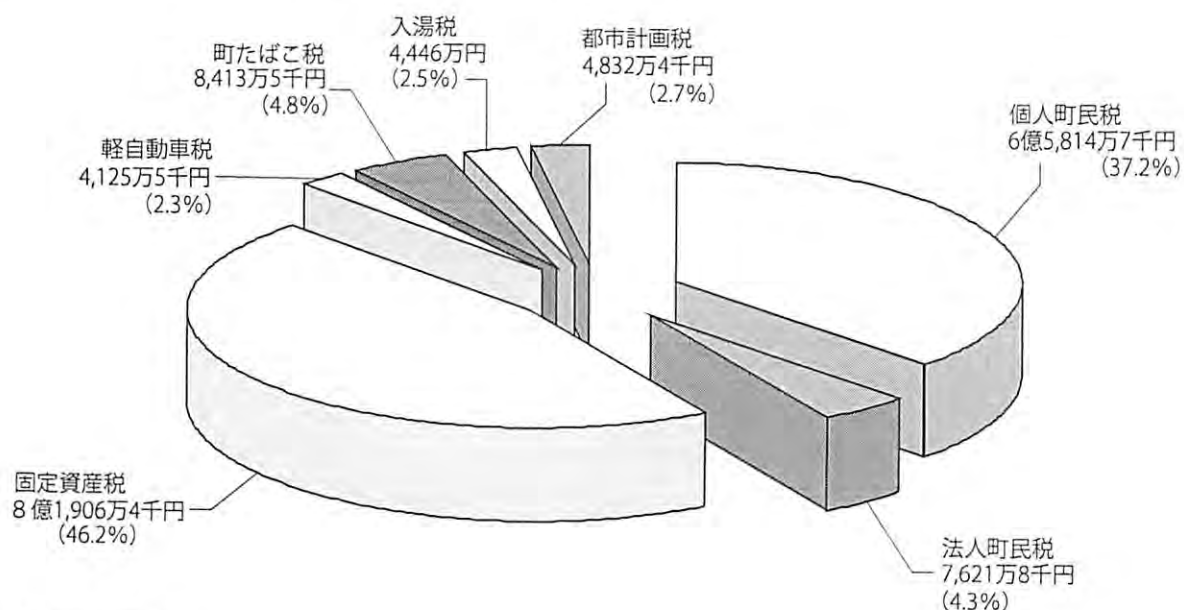
■語句の説明

地方交付税	地方公共団体間の地域格差をなくし、一定の行政水準を確保できるようにするために国税の一部が算定基準により算出され、町に交付される
国支出金	国が町に対して特定の事業の財源として交付する負担金、補助金、委託金など
県支出金	山梨県からの負担金、補助金、委託金など
地方譲与税	国税として徴収された税の一部を、町に一定の基準により譲与されるもの
分担金及び負担金	町が行う事業で、特に利益を受ける人から相応分の負担していただくもの
使用料及び手数料	使用料は町の施設の利用者に負担していただくもの。手数料は住民票交付手数料のように町の行政サービスに対しての利用者負担
町債	多額の財源が必要となる、長期間利用可能な学校や庁舎などを建設する財源として、町が国や銀行などから調達する長期的な借入金

○町税の種類

町税は次の7つの税目からなりたっています。個人町民税と固定資産税がもっとも大きく、全体の8割を占めています。

■町税の内訳（総額 17 億 7,160 万 3 千円）



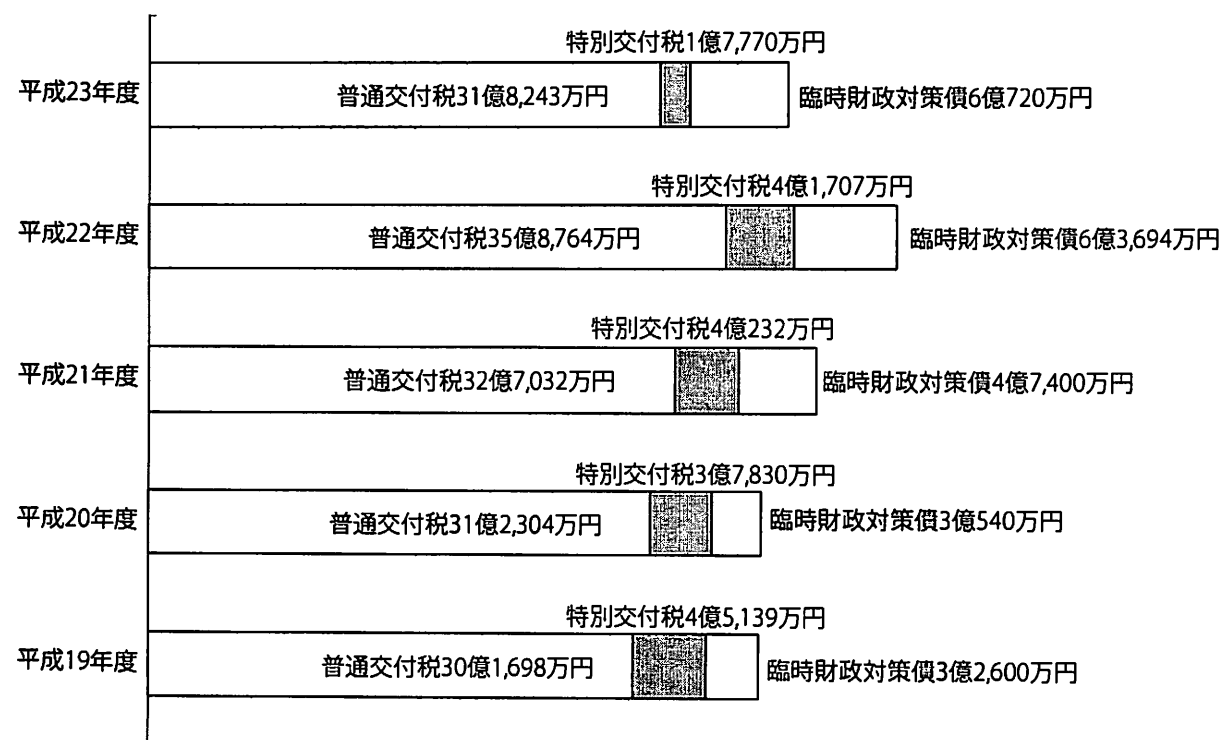
■語句の説明

個人町民税	個人の前年中の所得などに応じて課する税金
法人町民税	会社や店など法人の所得に応じて課する税金
固定資産税	土地や建物に課する税金
軽自動車税	原動機付自転車や軽・小型特殊・二輪の小型自動車の所有者に課する税金
町たばこ税	たばこを購入するときに課される税金
入湯税	鉱泉源の保護や観光の振興などにあてる目的で入湯客に課する税金
都市計画税	都市計画事業の費用にあてる目的で都市計画区域内にある土地や建物に課する税金

○地方交付税の推移

この表は、歳入予算の中の地方交付税と臨時財政対策債の5年間の推移を表したものです。なお、臨時財政対策債は、本来地方交付税で措置すべき財源不足について、後年度の交付税措置を実質的に約束した上で、国と地方が折半で臨時的に補てんする趣旨で導入された制度です。そのため、地方交付税との合算額を広義的な地方交付税とされています。

■地方交付税の推移



※平成19年度から平成21年度までは決算額、平成22年度は決算見込額、平成23年度は当初予算額

※1万円未満は四捨五入

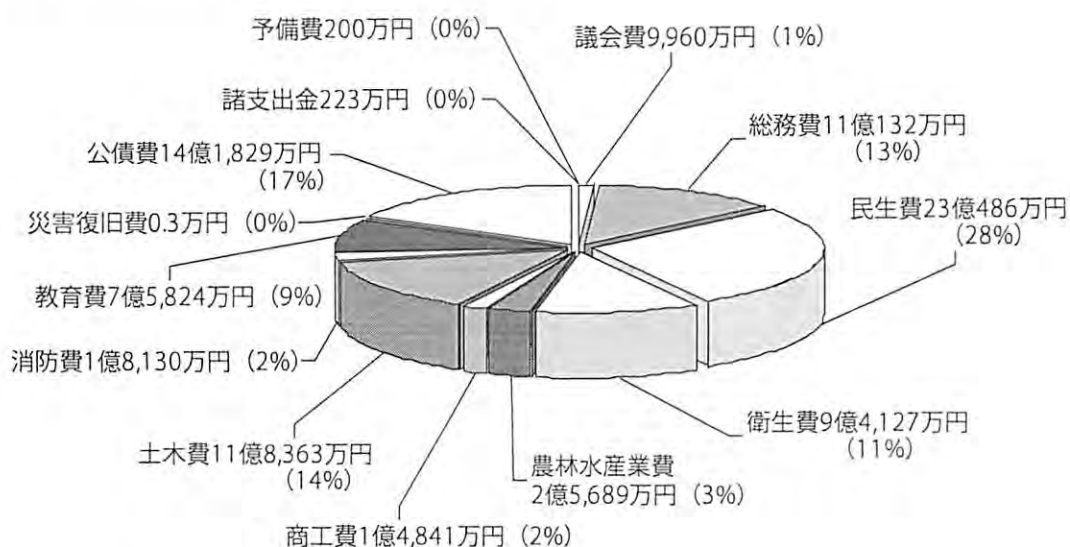
■語句の説明

普通交付税	地方公共団体間の地域格差をなくし、一定の行政水準を確保できるようにするために国税の一部を算定基準により算出し町に交付されるものです。国においては、交付税総額の95%分を全国の地方公共団体に交付します。
特別交付税	普通交付税で算定されきれない特殊な事情を捕捉し交付されます。交付税総額の5%分が全国の地方公共団体に交付されます。
臨時財政対策債	地方財政の財源不足を補うために発行を認められた地方債であり、地方交付税の算定基準により算定されます。この地方債は、建設事業以外の経費に一般財源として充てることができるものです。

○町のお金のつかいみち ― その1

歳出とは、家計でいう支出のことです。このグラフは、歳出がどのような目的で使われているか表したものです。

■当初予算の歳出内訳（83 億 9,804 万円）



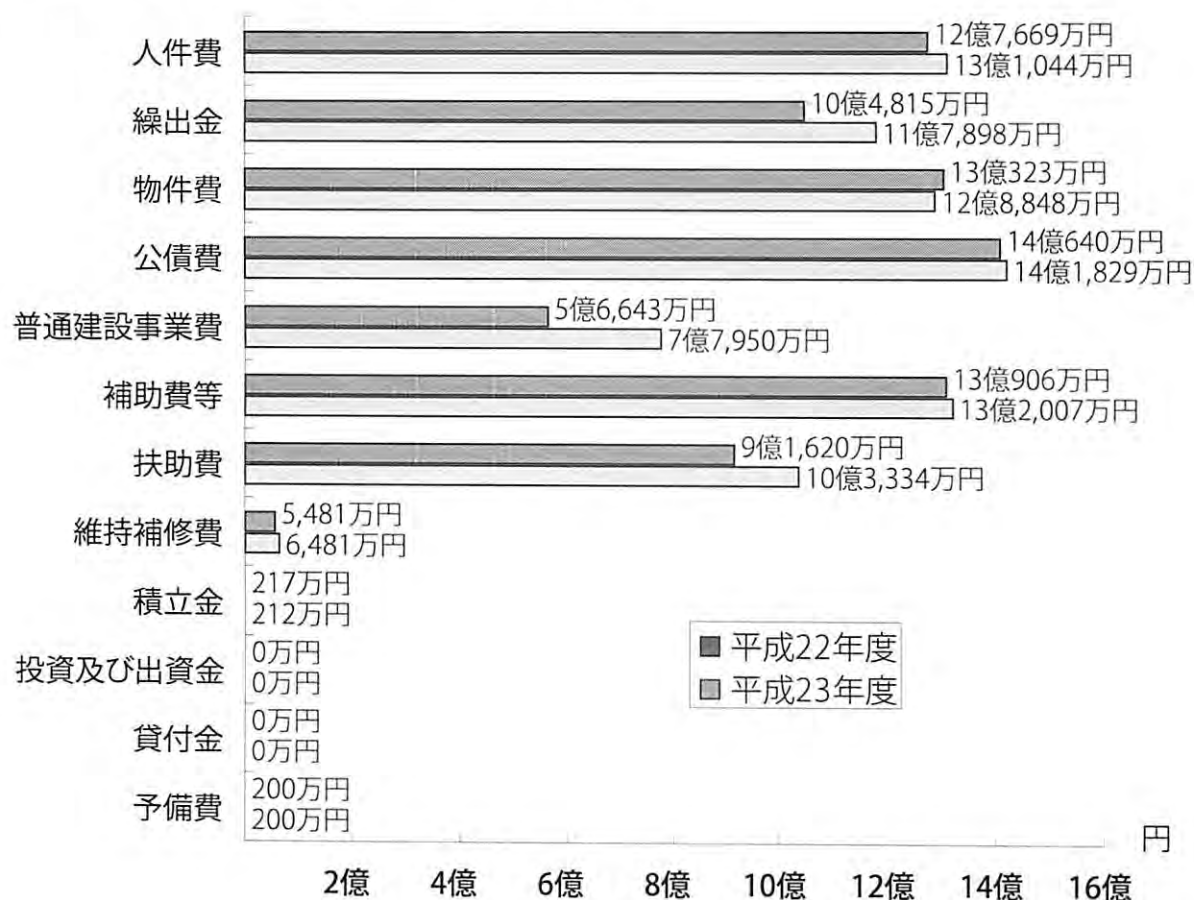
■語句の説明

議 会 費	町議会に要する経費
総 務 費	企画調整、財務等の事務事業、財産管理、戸籍、町税、人事などに要する経費
民 生 費	身体障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉などに要する経費
衛 生 費	町民健診、母子健診、環境衛生関係に要する経費
農林水産業	農業振興、農・林道整備、林業振興関係に要する経費
商 工 費	商工振興、観光関係に要する経費
土 木 費	道路、河川、住宅、都市計画に要する経費
消 防 費	消防車、耐震性貯水槽、備蓄倉庫等の消防関係に要する経費
教 育 費	教育委員会、小学校、中学校、社会教育、保健体育関係に要する経費
公 債 費	長期短期に借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金の合算額

○町のお金のつかいみち — その2

前のページでは、予算がどのような目的に使われているか表しましたが、ここでは見方を変えてどのような性質を持ったものに使われているかを表します。

■性質別予算対前年度比較（83 億 9,804 万円）



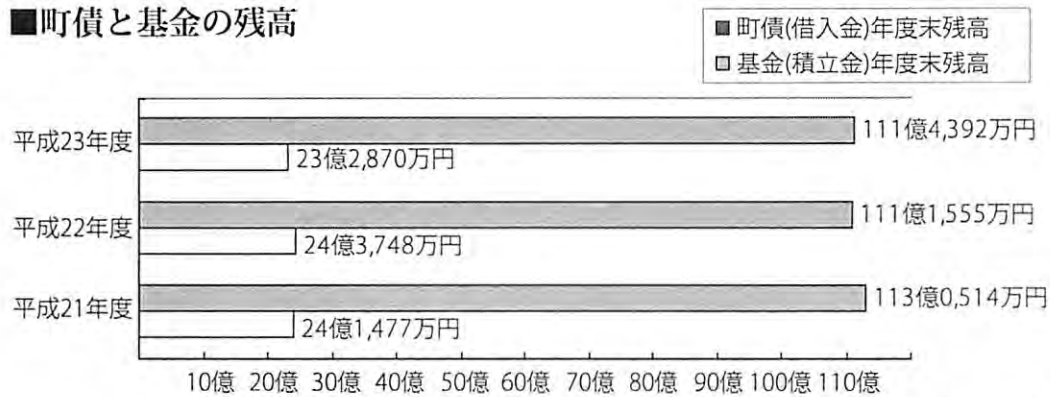
■語句の説明

人件費	町長、議員、職員、委員の給与、共済費、報酬など
繰出金	国民健康保険特別会計などの特別会計に一般会計から支払う費用
物件費	人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の消費的性質の経費で、賃金、旅費、消耗品、電気料、委託料など
公債費	町が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金の利子の合算額
普通建設事業費	道路橋梁、学校、住宅等公共施設などの建設事業に係る費用
補助費等	各種団体等に支払う補助金、峽南消防組合などの広域的な団体・組合の町負担金、報償金など
扶助費	老人福祉法、児童福祉法などの法令に基づくもののほか、乳児医療などの公費負担など社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する費用

○町の借入金残高と積立金

一般会計の平成22年度末の町の借入金（町債）の残高は111億1,555万円（見込）で、町民一人当たりの額は約62万円になります。また、平成23年度末の町債残高の見込額は111億4,392万円で、町民一人当たりの額は約62万円です。一方で、平成23年度末基金（積立金）の残高は、23億2,870万円であり、町民一人当たりの額は約13万円となります。（人口は各年度2月1日時点の数値によります。）

■町債と基金の残高



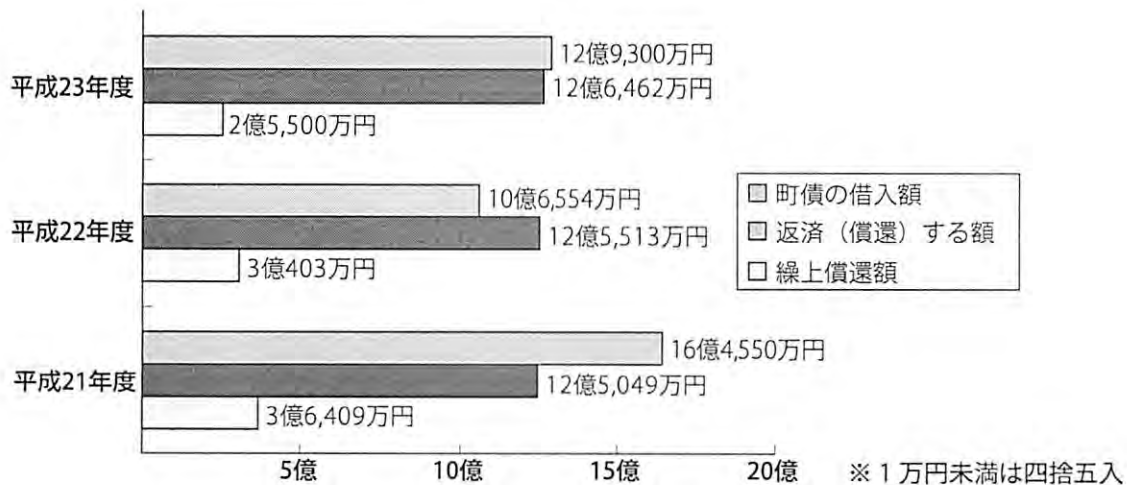
※1万円未満は四捨五入

■町の借入額と返済額の推移

その年度に使うお金は、その年度に入る収入（町税など）でまかなうことが原則です。しかし、学校の建設など一度に多額の費用を要する事業を行うときに、他の住民サービスに支障が生じないように借入れをすることが出来ます。この制度が「町債」です。

町債には、現在の人も将来の人も利用するような道路や学校などを建設するときに、世代間で公平に負担するという側面もあります。このような町債の性格も含めて、借入金と積立金のバランスの取れた健全な財政運営が出来るよう努めています。

なお、後年度の借入の返済の負担を軽減するため、平成19年度より借入金の返済時期を繰り上げて返済をしています。これを繰上償還くりあげしょうかんといい、平成23年度には2億5,500万円の繰上償還を行います。



※1万円未満は四捨五入

○町が支出している負担金と補助金

町では、町が構成・参加する、または広域的に協力・連携する団体などに負担金を支出しています。また、地域の活性化や産業・文化・スポーツ・教育の振興のためにさまざまな分野に補助金を交付しています。

一般会計の中で、課ごとに10万円以上の予算を各年度当初に計上した負担金・補助金の一覧を掲載します。(平成22、23年度のいずれか、または両方が10万円をこえるもの)

平成22年度合計	13億4,590万5千円
平成23年度合計	12億9,893万6千円

※上記の合計は10万円以上の負担金・補助金の合計額です。

(単位：万円)

議会事務局	平成22年度	平成23年度
議員共済会事務費負担金	27	27
山梨県町村議会議長会費	108.6	108.6

企 画 課	平成22年度	平成23年度
広域ネット負担金	1217.7	1004.9
行政手続の電子化共同処理負担金	114.4	111.3
峡南広域行政組合負担金	28,888.3	29,149.4
計算センター町村電算システム負担金	2188.6	1775.9
峡南ふるさと創生事業補助金	50	50
デジタル放送移行支援助成金	100	20
テレビ共聴施設デジタル化事業補助金	150	0
山梨県地域振興対策協議会補助金	11.6	12.1
ぼたんの花祭り実行委員会補助金	150	150
ふるさと夏祭り実行委員会補助金	300	300
ふるさと秋祭り実行委員会補助金	150	150
ふるさと冬祭り実行委員会補助金	50	50

総 務 課	平成22年度	平成23年度
職員研修費負担金	52	52
職員研修管理負担金	104.5	101.9
内外情勢調査会懇話会年会費	18.9	18.9
山梨県町村会負担金	26.7	26.7
防犯協会総会負担金	10.8	10.8
交通安全協会支部運営費補助金	27.2	27.2
チャイルドシート購入費補助金	45	45
街路灯設置費補助金	30	30
自主防災組織資機材整備事業補助金	50	50
山梨県消防協会峡南支部負担金	13.9	13.9
山梨県消防広域化推進協議会運営費負担金	0	17.4
常備消防無線デジタル化電波伝搬調査基本設計負担金	0	135.4
消防団退職報奨金負担金	983.1	983.1
公務災害負担金	115.1	128.2
団員賞じゅつ金負担金	19.6	19.5
団員福祉共済負担金	126	153.6
消防団分団運営費補助金	162	165
上水道消火栓設置負担金	210	210

町 民 課	平成22年度	平成23年度
峡南人権擁護委員会負担金	12	12
峡南保護司会負担金	14.2	14.2

(単位：万円)

税 務 課	平成 22 年度	平成 23 年度
(社) 地方電子協議会負担金	0	26.1

いきいき健康課	平成 22 年度	平成 23 年度
市川三郷町立病院事業会計負担金	20,000	20,000
休日夜間急患診療体制整備事業負担金	1,467.9	1003.9
小児救急医療事業負担金	86.7	79.4
地域医療体制調査検討委員会負担金	0	102.3
(社) 山梨県医師会負担金	53.6	53.2

福祉支援課	平成 22 年度	平成 23 年度
社会福祉協議会負担金	2,035.7	1022.1
精神障害者共同作業所そよかぜワークハウス負担金	44.3	44.3
障害区分認定負担金	212	208.4
社会福祉協議会運営補助金	3,590.9	3711
地域福祉活動補助金	21	17.5
民生委員協議会補助金	150	150
光の家運営費補助金	17	17
身体障害者福祉会補助金	13.4	13.4
遺族連合会補助金	17	17
生活福祉資金利子補給	15.2	7.6
シルバー人材センター負担金	415.2	462.2
後期高齢者医療広域連合負担金	18,324.4	19796.6
ねんりんピック全国大会出場補助金	10	10
老人クラブ運営費補助金	596.3	573
敬老会運営費補助金	514.4	532.2
社会福祉法人等による利用者負担軽減事業負担金	224	212
ふれあいペンダント負担金	77.1	78.7

保 育 課	平成 22 年度	平成 23 年度
私立保育園運営所運営費補助金	30	30
三珠・大塚通園バス補助金	200	0
南保育所通園バス補助金	110	110
延長保育促進事業補助金	1,442	1458.1
一時預かり事業補助金	135	225

生活環境課	平成 22 年度	平成 23 年度
犬猫避妊、去勢手術補助金	99.8	99.8
生ゴミ処理機購入費補助金	40	25
合併浄化槽設置費補助金	101	101
自然エネルギー有効活用促進奨励金	360	240
峡南衛生組合負担金	7,038.3	6546.2
中巨摩地区広域事務組合負担金	19,014.4	17486.5
北茨城市負担金	12.5	12.5
山梨県各地域廃棄物対策連絡協議会負担金	33.1	33.6
三郡衛生組合負担金	5,205.2	5495.8
ごみステーション設置費等補助金	50	50
低所得者水道料金減額補助金	39	22.2
上水道会計負担金	404	404

(単位：万円)

産業振興課	平成 22 年度	平成 23 年度
県農業会議負担金	24.9	24.9
農業用廃プラスチック処理センター処理等負担金	102.4	84.8
山梨県水土里情報利活用推進協議会負担金	0	75
農業技術者設置補助金	50	50
山梨中央農業共済組合補助金	13.8	74
中山間地域等直接支払制度推進事業補助金	177.5	112.4
有害獣防除資機材補助金	60	60
市川三郷町地域水田農業推進協議会補助金	0	129.8
農地・水・農村環境保全向上活動支援協議会交付金	107.9	107.9
畑かん事業負担金	1925.1	1911.5
土地改良施設維持管理適正化事業負担金	63.9	97
土地改良連合会負担金	41.5	48.5
大塚水利組合補助金	30	30
六郷土地改良区補助金	50	50
下鴨狩水利組合補助金	20	20
中山間地域総合整備事業負担金	8006.8	4025
小規模水力発電事業負担金	0	250
森林組合職員設置事業補助金	71.9	62.1
林業労働者通年就労奨励事業補助金	9.8	10
森林整備地域活動支援交付金	280.9	16.2
環境公益林整備支援事業補助金	37.6	0
富士川地域地場産業センター負担金	290.2	291.5
商工会運営費補助金	700	700
商店街活力再生支援事業費補助金	311.5	350.3
六郷印章連合組合補助金	40	40
市川和紙協同組合補助金	33.8	33.8
商工会一店逸品創出支援事業費補助金	10	10
プレミアム付商品券発行助成金	0	250
やまなし観光推進機構負担金	42.2	42.2
信玄公祭り実行委員会負担金	10.2	10.4
富士川地域身延線沿線観光振興協議会負担金	23.2	23.2
西伊豆町交流助成金	25	25
歌舞伎鑑賞助成金	30	30

建設課	平成 22 年度	平成 23 年度
中部横断自動車道（富沢～増穂）建設促進連絡協議会負担金	15	15
西八代縦貫道路促進期成同盟負担金	10	10
宇野尾トンネル電気代負担金	20	20
急傾斜地崩落対策事業負担金	780	650
市川地区中央部まちづくり研究会補助金	100	100
住宅リフォーム助成金	0	300
狭あい道路道路後退・撤去等・新設費助成金	100	100
民間木造住宅耐震改修補助金	80	80
民間木造住宅建替補助金	80	240
民間木造住宅耐震性向上補助金	0	80
民間木造住宅シェルター設置補助金	0	24
民間建築物アスベスト含有調査費補助金	25	25
民間建築物アスベスト除去等改修費補助金	80.2	400
富士川水防連絡協議会	10	0

(単位：万円)

教育総務課	平成 22 年度	平成 23 年度
教育委員関東甲信越静大会研修会参加費負担金	14	14
峡南地区指導主事設置負担金	20	20.4
峡南地区ことばの教室負担金	29.3	31.3
峡南教育研究協議会東部支会負担金	11	11
県費負担教職員健康管理推進事業負担金	26.5	26.8
峡南地区中学校夏季総合体育大会負担金	20.2	0
日本スポーツ振興センター等負担金	132.2	131.6
PTA 親子安全会負担金	54.3	53.6
教科書（中学校用）採択協議会負担金	0	11.3
私立幼稚園就園奨励費補助金	1074.6	1181.8
教員県外派遣研修費補助金	15	15
マスカティーン市使節団訪問時補助金	0	255
国際交流協会補助金	35	35
英検等各種検定料補助金	51.8	41.4
修学旅行引率費補助金（市川小学校）	14.7	18.3
修学旅行引率費補助金（三珠中学校）	11.8	11.4
修学旅行引率費補助金（市川中学校）	19.6	25.5
修学旅行引率費補助金（六郷中学校）	12.2	12.7
進路対策補助金（市川中学校）	10	0
各種大会生徒派遣費補助金（市川中学校）	150	145
部活動強化対策派遣費補助金（市川中学校）	40	40

生涯学習課	平成 22 年度	平成 23 年度
峡南教育研究会負担金	14.1	15.1
町民会議補助金	130	130
国民文化祭実行委員会補助金	0	20
文化協会補助金	90	90
子安神社神楽保存会補助金	12	12
大門碑林書道展補助金	230	230
三珠文殊県下書道展補助金	56	56
ふれあいコンサート実行委員会補助金	45.3	45.3
三珠歌舞伎太鼓保存会補助金	10	10
ジュニアコーラスいちかわ補助金	50	50
市川三郷町体育協会補助金	493	463
スポーツ振興くじ助成金	100	0

直通電話番号一覧

【本庁舎】 代表 ☎ 055-272-1101

企 画 課055-272-1103	総 務 課055-272-1102
財 政 課055-272-6091	町 民 課055-272-1105
税 務 課055-272-1104	福祉支援課055-272-1106
生活環境課055-272-6092	建 設 課055-272-6090
出 納 室055-272-1107	議会事務局055-272-1108
教育総務課055-272-6093	生涯学習課055-272-6094
政策推進室055-272-6095	

【三珠庁舎】

三 珠 支 所055-240-4153 産業振興課055-240-4157

【六郷庁舎】

六 郷 支 所0556-32-2111 いきいき健康課0556-32-2114

【市川保育所内】 保育課保育係 055-240-4160

【大同出張所】 055-272-1504

【防災無線聞き直し】 0120-704-553 ←無料 055-272-7799

※掲載された事業などの問い合わせは、
各担当課までお願いします。

本書を希望される方は、市川三郷町役場本庁舎 2 階総務課、三
珠支所、六郷支所でお渡しします。

また町ホームページから閲覧や印刷ができます。(トップページ
のトピックス欄をご覧ください)



〒409-3601

山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1790-3

☎055-272-1101

E-mail: ims1790@town.ichikawamisato.yamanashi.jp